

濟生

SAISEI

THE NEWSLETTER of
Social Welfare Organization
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

No.1111

「濟生会交差点」
働く男性の運動教室
応援プロジェクト



1

January 2022

社会福祉法人 恩賜財団 濟生会

<https://www.saiseikai.or.jp>

濟生会の 不易流行論

理事長 炭谷 茂
Shigeru Sumitani

明けない夜はない

最

悪だ。どうしたらよいのか」と嘆きたくなること。そんな時は「明けない夜はない」という俚諺を思い出す。いつかこの闇も明け、明るい朝が待っていると考え。心が軽くなり、目の前の問題と闘う気持ちが出るとき、暗いトンネルを脱出することができる。

昨年、「今年（令和3年）の予想は、難しい。コロナの感染は、収束することなく、経済、社会、国民生活に昨年以上に多大な影響を年間を通して与え続ける」と述べたが、その通りに推移した。



今年も予想は、難しく、感染力が強大なオミクロン株は、水際で完璧に防ぐことは難しく、警戒を怠ってはならないが、過去の感染症と同様に、段々と感染力や病原性を弱め、いざれ収束に向かうだろう。その時期は、年内だと期待する。夜明けは近い。

去の感染症と同様に、段々と感染力や病原性を弱め、いざれ収束に向かうだろう。その時期は、年内だと期待する。夜明けは近い。

の予想と濟生会の取り組みの方向について書いている。昨年、「今年（令和3年）の予想は、難しい。コロナの感染は、収束することなく、経済、社会、国民生活に昨年以上に多大な影響を年間を通して与え続ける」と述べたが、その通りに推移した。

不易流行（ふえきりゅうこう）：不易は永遠性、流行はその時々の新風をいい、芭蕉が俳諧思想を表現するとき用いた。濟生会は長い歴史で醸成された価値を大切に、時代の変化に適応していかなければならない。



熊本、松山から「愛」をお届けします！



熊本濟生会ほほえみ「パン工房ふわり」
熊本県熊本市南区内田町 3560-1 Tel: 096-223-3428

松山ワークステーション「なでしこ」
愛媛県松山市東山町 143 番地 Tel: 089-916-6959



焼き菓子のネット通販店「なでしこファーム」

なでしこファームは、濟生会の就労継続支援事業所で作ったお菓子を販売するネット通販店。熊本・濟生会ほほえみと愛媛・松山ワークステーションが店舗し、濟生会のホームページ上で営業中です。商品のクッキーやケーキは、障害者が街のお店に追いつき追いつきと、一生懸命つくりました。どうぞ一度、その思いも一緒に召しあがってみてください。お中元、お歳暮にも最適です。 店主敬白



◆クッキー(左上から時計回りにマーブル、ゴマ、プレーン、クルミ) ◆ギフトボックス(クッキーとパウンドケーキの詰め合わせ) ◆くまドレーズ(くまの形で、手軽に食べられる大きさのドレーズ) ◆元祖クッキー(片栗粉を使ったサクサクとした歯ごたえが人気)

濟生会のトップページからアクセス!!
<https://www.saiseikai.or.jp>



ホームページには、他にも魅力いっぱいの商品が。工房で、お店で活躍するスタッフの様子も。ぜひご覧ください。





1月のたよりが聞こえる 松と菊戴

おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯に……とは、おとぎ話の桃太郎の出だしだが、今回の主役はおじいさん。桃太郎が

鬼を退治して財宝を持ち帰ったおかげで、おじいさんは山へ柴刈りに行かなくてもよくなった。で、どうなったかというところ、松茸が採れなくなった。松茸はアカマツの根に出るのだが、宅地開発やマツクイムシで赤松林が減ったうえ、落ちた松葉や下地に生える柴を燃料になくなると地面が富栄養化したことが背景にある。つまり、おじいさんが柴刈りに行かなくなると、里の山が荒れたのだ。日本の松茸の収穫量は昭和40年代はじめをピークに激減。まだ栽培法がないので、国産物は1本1万円も珍しくない。

山沿いのアカマツに對し、海沿いにあるのがクロマツ。塩に強いので砂防林として海岸に植えられてきた。黒

松原に生えるキノコが松露。虹の松原で有名な佐賀県唐津市に「松露饅頭」という口に入りやすい銘菓があるが、本物は、ほぼ幻だ。赤と黒が日本の松の代表格で、ともに葉が2本の二葉松。ハイマツなどは5本の五葉松もある。日本では基本的にこの2種類だけだが、世界には1から5本までそろっている。「千代の松」などと不変の緑が長寿の証とされる一方、「待つ」に通じるとして、万葉の時代から恋の歌としても数多く詠まれてきた。英語の「pine」(パイン)は名詞だと松だが、動詞になると「待ちこがれる」の意味になる。洋の東西で不思議な一致を見せる松である。

その松や杉、檜にやってくるのがキクイタダキ。体長約10センチ・体重5グラム、日本で一番小さい鳥だ。黄色の冠毛が菊の花を戴いているように見えるのが命名の由来。英語名「gold crest」の直訳は金の冠毛だが、欧州全土では「黄金の王冠」と見なされて愛されているそうだ。どうかコロナを払って「長寿の王冠」が皆さんに訪れますように。(Y)

表紙のことは 世界が平和で健やかに

表紙イラスト 久保田真由美 *Mayumi Kubota*

空を見上げた時に、不思議に思うほど小さな鳥が飛んでいるのを見ることがあります。疑問、「日本で一番小さな鳥って何?」。黄金の冠をつけた姿で「鳥の王」とヨーロッパでは言われているキクイタダキ

です。私が見たのがキクイタダキだったのかはわかりませんが、可愛らしいとっても小さな王様が飛び回る世界が今年も平和で健やかでありますように、と年の初めに願いを込めて。



濟生 SAISEI

CONTENTS JANUARY, 2022

NEWSな濟生人 臨床研修指導医育成の開拓者 濟生会医師臨床研修専門小委員会 委員長 岡山濟生会総合病院院長

塩出純二さん 委員 (埼玉)川口総合病院 循環器内科部長兼リハビリテーション科部長 船崎俊一さん

濟生会交差点 《働く男性の運動教室》応援プロジェクト 目指せメタボ撲滅!働き盛りの男性に専門職が指導/《地域のネットワークづくり》地域の11医療機関などが結集。身寄りのない人をみんなで支える/《介護ロボ大活躍》一緒に歌ったりクイズをしたり、職員を手助けする介護ロボ/《寸劇で糖尿病を啓発》糖尿病も災害への備えも。なでしこ一座が楽しく伝授

ソーシャルインクルージョン 22

がんばろう! 濟生会 28 (茨城)常陸大宮濟生会病院/《愛媛》今治病院

なでしこナースのストーリー 17

この人 森 泉 32

口福につぼん 吉井省一 34

だれでもかんたん てづくりおもちゃ 36 いまいみさ

巻頭コラム 濟生会の不易流行論 03

明けない夜はない 理事長 炭谷 茂

1月のたよりが聞こえる——松と菊戴 05

表紙のことは 久保田真由美

報告 生活困窮者問題シンポジウム 18

カレンダーなでしこ写真 入選のことは 20

TOPICS 38

載々、大雑報 60

題字協力: 石飛博光

アートディレクション: OVO INTERNATIONAL

教える相手と同じ済生会の仲間だからこそ
熱くなれる



第1回ワークショップ。左後方に塩出氏と船崎氏。後列には受講生として参加した園田孝志唐津病院長の姿も

NEWSな済生人 Interview

2004年度から始まった新医師臨床研修制度。済生会はこれに対応するため、06年2月から「全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ（SWS）」を開催、

独自に指導医を育てています。これまでに45回行ない、1300人超が修了しています。立ち上げ当初から、運営スタッフである「タスクフォース」を務めてきた塩出純二さんと船崎俊一さんに、次世代の済生会を担う人材育成について語っていただきました。（本部広報室）

——SWSを立ち上げた経緯から振り返っていただけますか。

塩出 SWSは「済生会のワークショップ」の略です。臨床研修指導医が、研修医を指導するために必要な知識や技術・態度などを学びます。「指導医講習会」と呼ばれているもので、日本病院会などでも開催。修了者には厚労省から修了証が授与される公的資格です。

——講習会ではなくワークショップなので

塩出 臨床研修カリキュラムの作成や評価、コーチング、フィードバック技法など、受講者がタスクフォースと一緒に学んで学びあったり、創り出したりするので、「ワークショップ」としています。

船崎 新医師臨床研修制度がスタートした翌年（05年）「全国済生会病院長会の中に「済生会臨床研修指定病院協議会」が立ち上がり、そのメンバーの一人、川口総合病院・原澤茂院長（現・名誉院長）が、「済生会独自の指導医講習会が効果的ではないか」と提案したのが始まりです。

——そうして16年前の2006年2月に第

1回SWSを開催した。

船崎 はい。第1回は、川口総合病院で実施、日本医学教育学会の戸倉康之先生をチーフタスクフォース（講習会企画責任者）として呼びました。戸倉先生から送られてきた膨大な資料を川口総合病院事務スタッフが必死に文字起こしをして、私たちタスクフォースはそれらを参考に、プログラムや資料を作成、開催準備を進めました。

塩出 私も、第1回SWSにタスクフォースとして参加しました。開催前日から期間中は深夜までスタッフが集まって議論、翌朝も6時には起きてすぐ準備に取りかかるという日々を今も忘れることができません。みな「SWSを成功させたい！」と、とても熱く燃えていました。その文化は、現在のタスクフォースまで受け継がれていると感じます。

——SWSの特色は？

塩出 第5回までは外部からチーフタスクフォースを招いていましたが、6回目以降は済生会のタスクフォースが交代でチーフを担っています。それによって「済生会らしさ」が醸成されてきたと感じます。

——済生会らしさとは？

塩出 私たちはSWSの開催に向けて連日深夜まで議論を重ねます。共に過ごすその時間が大事で、タスクフォース同士の理解が深まります。指導医講習会の方向性や価値観、受講生への接し方などの基本姿勢を共有し、本番に臨むわけです。そこが済生会のSWSの大きな特色と言えるかもしれ

済生会医師臨床研修専門小委員会 委員長

岡山済生会総合病院 院長

塩出純二
さん

済生会医師臨床研修専門小委員会 委員

〈埼玉〉川口総合病院 循環器内科部長兼
リハビリテーション科部長

船崎俊一
さん

臨床研修指導医育成の開拓者



※写真撮影時のみマスクを外しています

教育は将来への投資。後進を育てている人を
組織として位置づけてほしい



新型コロナの影響でオンラインで実施した第45回ワークショップ



第1回ワークショップの写真を見て昔を振り返る両氏

ません。
船崎 タスクフォースのメンバーには、明治維新の志士的な心境があったと思います。新医師臨床研修制度への移行は、それまで医学教育が大学や一部の研修指定病院のものだった時代

をガラッと変えました。その大改革に乗り、大病院などから遅れて指導医育成に着手した私たちには、「追いつけ追い越せ!」「よりよい指導医講習を!」「済生会らしい育成を!」という思いが強かったです。——確かに熱いですね。

もなり、みな情熱を持って取り組みました。半面、後から入ってきたタスクフォースの人たちは、初期メンバーのそんな熱い思いとの温度差で、やりづらさを感じているかもしれません。次代にどう受け継いでいくか、後進育成がタスクフォースの課題でもあります。

船崎 初期から、私たちと一緒にタスクフォースを務めてくれた小西靖彦さん(京都大学医学部教授)は、日本医学教育学会の理事長になりました。同じく中川晋さん(東京都済生会中央病院顧問)も同学会の理事を務めながら、医療系大学間共同試験実施評価機構でも活躍しています。SWSの礎とともに築いた仲間が、わが国の医学教育



で重責を担っている。SWSの人材育成が奏功した証とも言えないでしょうか。
「人材育成の済生会」
——タスクフォースとして大事にしてきたのは何がありますか?

塩出 医師は日々の臨床を通じて多くを学びますが、医師が医学教育について学ぶ機会はありません。SWSは手探りで準備してきた中で、私たちが意識したのは「どうやったら相手に分かってもらえるか」。それを突き詰めて、いつも深夜まで議論しました。

船崎 より相手が分かりやすい伝え方の追求です。若い医師たちは医学部教育で、教授や講師による「上から目線の指導」に慣れています。しかし、病院の現場指導は、大人から大人への教育です。教育を受ける側の立場も目線も、大学と臨床現場で異なるのは当然でしょう。SWSでは、教育を受ける側の立場や目線に配慮した伝え方を当初から熱く議論し、今も大事にしています。

船崎 SWSを開催する病院を、当番制で回していますね。
船崎 当番病院のスタッフは一丸となって

います。

塩出 横のつながりという意味では、SWSが受講生同士の交流の場にもなっています。全国の済生会病院から集まった医師が、普段顔を合わせることもない同世代の医師と勉強を共にし、同じ価値観を身につける貴重な機会です。その後の交流も生まれているようです。SWSへの参加が「済生会の医師」という意識づけにつながってくれることも期待しています。

船崎 私たちがこだわってきた「伝え方」「分かりやすさ」を軸に置いた指導は、医

講習会開催をサポートしてくれ、特に事務職の献身的な支援には毎回頭が下がります。これもSWSの特徴です。そして開催準備では前回の当番病院との綿密な情報交換で、病院間に横のつながりができる。SWSを全国の済生会病院に認知してもらおう機会にもなっ

師の教育に限らず、多職種育成にも応用できます。日本の医学界のリーダーを輩出していくことも含め、「人材育成の済生会」「教育の済生会」のブランドイメージが広く認知されるようになってほしいと、タスクフォースを長年務めてきた立場から強く願っています。

——「済生会にはどのような医師がいるのか」「済生会ではどのように医師を育てているのか」をもっと発信していく必要があるかもしれません。

船崎 法人全体の課題では、済生会の人材育成をどう位置づけるのかを再考する時期かもしれません。タスクフォース経験者で院長に就いたのは塩出さんが初めてですが、他の団体では多くのタスクフォース経験者が院長になっています。人材育成に関する法人の位置づけの表れというところでは無いでしょうか。

志の高い中堅職員が
中心となる組織へ

塩出 済生会における医師への教育は全国済生会病院院長会の発想で始まり、熱心な中堅職員の現場に基づく発想と行動力によって大きく発展してきました。現在、済生会本部事業として実施していますが、これを継続させるためには、志の高い中堅職員が中心となって動ける組織であってほしいと思っています。教育は将来への投資です。そこががんばって後進を育てている人を組織として認めてほしいです。

——最後に、SWSで印象に残る思い出を教えてください。

塩出 やはり、タスクフォースの仲間と連日深夜まで議論した、あの時間です。学生時代以降は経験することのなかった、熱気をみなで感じました。

船崎 はい、私もその一人です(笑)。それに加えて、全国の済生会病院のさまざまな職種とつながることができた、これが私の大切な財産です。とても幸せな役割を与えてもらったと感謝しています。





理学療法士の指導で、仕事の合間にもできる運動を紹介



運動教室最終回は、医師が「着実に健康に対する意識を上げられました」と修了証を贈呈

対策の中で直接指導することができ、参加者も私たちが手応えと達成感を共有しています。2年連続のレビューに参加者もいて、うれしかったです。次は、まちづくり協会で連携するイオンモール高岡と、健康づくり・生きがいづくり・

住民交流の促進も計画。コロナが落ち着いたらイオンモールウオーキングなどを再開して、地域をもっと健康にしていきたいです。



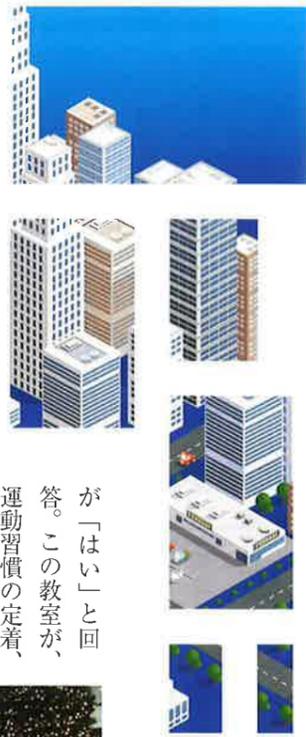
コロナ前に実施したイオンモールウォーキング

济生会
交差点
SAISEIKAI JUNCTION
济生会にはたくさんの道があります。道はどこかの交差点で交わり、離れていきます。そして経路は異なっても目的地はみんな同じ。「笑顔」です。

だった人は「参加をきっかけに筋力が向上し、車通勤を徒歩に

変えたら痛みが軽減した」と笑顔で話してくれました。他にも「外食中心から自炊するようになり、飲酒習慣も見直した」とも。終了後アンケートでも「健康のために意識して体を動かしていますか」の問いに、全員

が「はい」と回答。この教室が、運動習慣の定着、生活習慣の改善のきっかけになっています。コロナ禍の昨年度は、血糖測定など一部を除きオンラインで実施。今年度は万全の感染



目指せメタボ撲滅！働き盛りの男性に専門職が指導

「働く男性の運動教室」応援プロジェクト
〈富山〉高岡病院

「働く男性の運動教室」は、医師監修の下、理学療法士・管理栄養士・保健師が専門職の立場から講義や指導するプログラム。今年度は「メタボは心筋梗塞や脳梗塞のリスクを上昇させる」と題し、1クール4回・

とやまパラドックス!?
合計260分で、9月～11月にかけて2クール実施しました。初回は、身長・体重・腹囲・血圧・血糖・飲酒などの生活習慣を把握し、保健師・管理栄養士がメタボ改善を指導。管理栄養士は、健康食といわれる魚介類の消費量が全国屈指で平均



「働く男性の運動教室」応援プロジェクトのメンバー

生活見直しのきっかけも
膝関節痛のため運動に消極的

BMIが比較的低いのに、メタボも2型糖尿病罹病率も高い「とやまパラドックス」に言及。クイズも交えて、メタボ改善の食事の量やバランスを楽しく学んでもらいました。2・3回目は理学療法士が身体構造を説明し、太りにくい体質をつくるための適切な運動負荷や、効率のよい運動フォームなどを伝えながら、筋トレや有酸素運動を指導。どこでも手軽にできる10分程度の運動動画をYouTubeで配信し、運動の

介護ロボ 大活躍

〈和歌山〉老健
ライフケア有田

施設長 池本英司
支援相談員 向山 伸

一緒に歌ったりクイズをしたり 職員を手助けする介護ロボ

ライフケア有田は、デジタルサイネージが専門のプ
イシング社と共同で、デ
ケアのレクリエーション時
に職員を補佐するIoT
介護ロボ（ケアアシストサ
イネージ）を開発、201
7年11月から現場で活用し
ています。



アプリでクイズを楽しむ利用者さん

開発・導入のきっかけは、

「珍しい自動販売機が見かけたこと
と友人に話すと、彼の知人が勤
めるプイシング社の開発だと聞



池本施設長

き、紹介してもらいたい視
察。そこで女の子のキ
ャクターが多言語で
話す、インバウンド対
応インフォメーション
サイネージを見ました。
「これは人手不足に悩
む福祉現場で、介護職
の代わりとして使える」と
ひらめき、共同開発に至っ
たのです。

雑務を 肩代わりしてくれる

介護ロボの液晶画面は46
インチのタッチパネル式で、
スマホのように指で触れて
操作します。画面には、親
しみやすい女の子のキャラ
クターが映り、利用者さん
と一緒にレクリエーション
を進めてくれます。食事・
入浴・排泄の三大介助以外
に雑務も多い介護職にとっ
て、役割の一部を肩代わり
してもらえるのはとても助
かります。

たとえばクイズをする場
合、従前は介護職がホワイ
トボードに書いたり、模造
紙を貼ったりと準備も進行
も大変でした。介護ロボな



物忘れチェックも手軽に行なえる

女の子のキャラクターと一緒に歌える

ら一度記憶した情報は、いつで
も何度でも画面に即、表示でき
ます。

このキャラクターは話すこと
もできるので、利用者さんと一
緒に、口腔機能を鍛えるパタカ
ラ体操や早口言葉を実演し、場
を盛り上げる役割も任せていま
す。コロナ禍でカラオケに行け
ない今は、利用者さんがキャラ
クターと「幸せなら手をたたこ
う」などを楽しくデュエットし
ています。

認知症と ロコモの予防も

介護ロボの活躍の場はそのほ
かにもあります。一つ目は認知
症予防。当デイケアは、軽度認
知障害（MCI）の段階で進行
を止めるのが目標です。介護職
は認知症の知識を深めて関わり、
介護ロボにプログラミングした
近時記憶トレーニングのクイズ
や物忘れチェックを実施。利
用者さんの記憶回路を活性化し、

認知機能の改善につなげていま
す。

二つ目はロコモティブシンド
ロームの予防です。まずサイネ
ージにロコモの危険因子を表示
し、ロコモ度をチェック。その
うえで予防のための片足立ち・
スクワットなどロコモ体操のメ
ニューを実践しています。

ロコモチェックも従前は模造
紙を都度貼って確認していたの
で、画面にいつでも表示できる
のは便利です。当初はスタッフ

が行なっていた介護ロボの操作
も、いまでは利用者さん自らタ
ッチパネルに触れ、クイズに回
答したり、好きに選曲して歌つ
たりしていて、職員の業務負担
がずいぶん軽減されました。

将来的には利用者さんの顔を
識別し、その人の趣味・嗜好に
合った会話や、最適なリハビリ
テーションを介護ロボで行なう
のが目標。そのためにもデー
ブラーニング（深層学習）を重
ねて改良を進めます。



全国糖尿病週間では「備えあれば憂いなし」を上演

寸劇で 糖尿病を啓発

〈愛媛〉松山病院
総務課
木本薫子

糖尿病も災害への備えも なでしこ一座が楽しく伝授

松山病院に
は糖尿病ケア
チームが結成
した小さな劇団

「なでしこ一座」が
あります。当院の糖尿病
教育のモットー「患者さんに元
気と勇気をあたえる糖尿病教
育」を実践する活動で、楽しく
分かりやすく患者さんに学んで
もらおうと、糖尿病教室で寸劇
を織り交せて講義したのがきつ

かけです。

初公演は2016年11月17日。
全国糖尿病週間の院内行事で

の記念行事や全国糖尿病週間の
中でテーマを決めて演じ、患者
さんや松山市民に、糖尿病につ
いて幅広く啓発して
います。

失敗は「愛敬」!

一座のメンバーは、
宮岡弘明院長をはじめ
め、糖尿病専門医・
看護師・理学療法士・
薬剤師・事務員など





#119 病気も暮らしもみる

救命救急センターの勤務は、患者さんに
関わる時間が限られるため、人柄やご家族
の背景を十分に把握することが難しい。

喘息の発作があり、頻回に救急外来を受
診するAさん。この日も来院し、治療薬を
吸入すると症状が落ち着いたら。しかし、う
つむき加減で元気がない。声を掛けると、
「息子と面会中はいつも喘息が出てしま
う」と話した。「息子さんの状態はどうで

すか？」と聞くと、「危ないみたい——」
と答えた。悲しみと疲労の表情がうかがえ
た。

私は、息子さんが入院していることを初
めて知った。しかし、彼はこの日の午前中
に亡くなっていた。

Aさんの精神的な負担を考えたとき、認
知機能低下や喘息の症状が再度現れるかも
しれない。私は、MSWへ情報を提供、そ

の後の対応を依頼した。Aさんの普段と異
なる様子に違和感を覚え、声を掛けたこと
から、この方の抱えている状況が見えてき
た。

患者さんの疾患だけでなく、その方の暮
らしにも目を向ける。そういう看護ができ
るように意識して、これからは医療や福祉
サービスを活用できるようにサポートして
いきたい。
(静岡・病院)

写真と筆者は異なります

投稿募集：ご自分のことやまわりで見かけた、「ナースのちょっといい話」を募集しています。笑える話も大歓迎。原則として500字以内。匿名（謝礼送付の関係から応募は実名）で、法人ホームページにも転載されることがあります。広報室ナース係へ（メール：koho@saiseikai.or.jp）。



の多職種。劇のテーマ決めから
シナリオ・衣装・小道具づくり
まで、みんなで話し合って準備
します。
患者さんたちが楽しく学べる
よう、身近で関心の高いテーマ
を選定し、それを効果的に伝え
るシナリオを練り上げます。た
とえば、観客を飽きさせないよ
う難しい言葉や表現を避けなが

ら、要点は必ず覚えて帰
ってもらえるよう、劇の
最後に「本日のまとめ」
を入れます。
多職種の一座なので、
まずは個人でシナリオ
に沿って練習し、メンバ
ー数人で合わせてから最
終的に全体でリハーサル。
しつかり伝わるよう、セ
リフは大き
くゆつくり
を意識しま
す。
練習は勤
務外に行な
うので、本
番の失敗は
ご愛敬。それもな
でしこ一座のよい
ところで、素人一
座ならではのアク
シデントも温かい
目で見ていただき、
和やかな雰囲気
で糖尿病を学んで
らっています。

災害教育で 活動の場が 拡大

2018年7月

に愛媛県を襲った西日本豪雨災
害をきっかけに、なでしこ一座
は災害教育を演目に加えました。
すると、愛媛県警本部の健康教
室など、地域のイベントに呼ば
れることも増加しました。災害
教育でも笑いを交えた寸劇は、
100円均一商品を利用して3
000円でそろえる災害キット
の紹介、薬を常備する大切さ—
の二つに焦点を絞り、万—
に備える重要性を伝えています。
劇中では、糖尿病ケアチームが
つくった「糖尿病患者さんの災

害時、薬物療法継続のための8
か条」を、客席と一緒に復唱し
ます。
コロナ禍で21年は活動を自粛
しましたが、11月の家族介護教
室で久しぶりに再開でき、通算
公演数は15回になりました。な
でしこ一座の活動が、地域へも
広がったのは、観た方の口コミ
のおかげです。今後も、役立つ
情報を楽しくお見せし、もっと
地域に貢献できるようにメンバ
ー一同で頑張ります。

「本日のまとめ」を伝える宮岡院長





岡山県済生会の職員が撮影編集した「なでしこプラン紹介動画」も上映された

報告 生活困窮者問題シンポジウム

8050問題・コロナ禍での社会的孤立と貧困 に向き合う

岡山済生会総合病院 済生記者 高畑貴子

第9回生活困窮者問題シンポジウムを12月5日、「8050問題を考える——コロナ禍での社会的孤立と貧困にどう向き合うべきか」をテーマに岡山市の岡山県医師会館で開催、オンラインも含めて、地域住民や病院福祉関係者ら約350人が参加しました。



塩出純二氏

はじめに、塩出純二・岡山済生会総合病院院長と炭谷茂理事が挨拶し、(大阪)豊中市社会福祉協議会福祉推進室長の勝部麗子氏が、「8050問題」豊中市社会福祉協議会の実践から」と題して基調講演。社会的孤立の状況下で「二人も取りこぼさない」として、年間360



炭谷茂氏



勝部麗子氏

から社会参加した事例などを紹介しました。その後、「岡山県済生会の地域支援活動」の紹介として、済生丸やへき地医療活動等の動画を15分間放映。職員が撮影編集したもので「済生丸で検査をして大丈夫ですよと言われるのが一番うれしくてここへ来ます」と島民が笑顔で話してくれた場面が印象的でした。



山本浩史氏

シンポジウムでは、元岡山県済生会職員、新見公立大学健康科学部教授の山本浩史氏がコー

ディネーターを務め、勝部氏を含む5人がパネリストとして登壇しました。岡山県精神保健福祉センター所長の野口正行氏は「同センターからみた社会的孤立と貧困の



野口正行氏

問題」に言及。精神障害者は支援ニーズが高いにもかかわらず

支援に拒否的な傾向があることや、生活困窮者支援で、重度の精神障害者支援は重要な課題と訴えました。岡山市社会福祉協議会寄り添いサポート担当室長の松原智一氏は、岡山市寄り添いサポートセンターの取り組みを紹介し、誰もが支え合いながら安心して



松原智一氏

暮らすことができる地域社会づくりについて述べました。NPO法人岡山・ホームレス支援きずな理事の新名雅樹氏は、生活困窮者のための食堂「安楽亭」の運営を通じて「衣食を通じて命をつなぐ」「会話を通じ

て心をつなぐ」「共に歩み未来をつなぐ」という支援のカタチと、ホームレスへの支援から、劣悪な住環境の問題等を報告しました。



新名雅樹氏

岡山済生会ライフケアセンター総括事務部長の森本尚俊氏は、済生会のSDGsとして、岡山済生会「安心と信頼」のサービスネットワークを説明。8050問題では、ショートステイで80代女性の身体的虐待を発見し、ひきこもりで支援を拒否する50代の息子を説得して特養入所に



森本尚俊氏

つなげた事例などを紹介しました。登壇者によるディスカッションでは、ひきこもり予防策に



岩本一壽氏

とはないかと考えながら聞いた。「すべての人々に居場所と役割を」ということの大切さを再認識した」という感想がありました。

支援が必要と訴えることができない方へのアウトリーチを改めて考え、つないだ手と手の優しいぬくもりを感じ、その手を離さぬよう、人々が明日を笑顔で過ごしてほしいと心から願えるシンポジウムとなりました。





2022年
下期

CALENDAR ★ なでしこ写真

入選 のことば

2年に1度募集する済生会カレンダーのなでしこ写真。多数のご応募をいただいた中から、2022年版は岡山済生会総合病院の藤田裕一さん（上期）と滋賀県病院の藤田拓郎さん（下期）の作品が選ばれました。

2022年
上期

この度はたくさんの方の作品の中から私の写真を選んでいただき、ありがとうございます。この「なでしこ」は長野に住んでいる私の両親が育てている花を撮影しました。帰省する私たちが家族を迎える際、玄関に彩りを加えたいと思った母が花を買い、父が日々水やりをして育てました。



滋賀県病院 リハビリテーション技術科 藤田拓郎

★★★愛情をもって育てる

なでしこを漢字で書くと「撫子」と書きます。これは可憐な花を小さな子に例え、撫でたいほど可愛らしいという「撫でしこ」からきていると言われています。私も、子どもの頃に優しく頭を撫でてもらい、とてもうれしかった記憶はいまだに残っています。

私には中学1年から2歳まで4人の子供がいますが、どの子どもたちも個性豊かで愛らしく、同時に子育ての難しさも感じています。私も両親のようにおおらかに、子どもたちに愛をもって育てていきたいと思っています。

今回、私の撮った写真を見た方も、子どもを愛する親のように優しい気持ちになっていただけたら幸いです。

★★★ナデシコの花と娘が出迎えてくれる

岡山済生会総合病院 総務部 藤田裕一

6年前に広告カメラマンから転職、岡山県済生会に事務員として入職しました。前職からのプレッシャーもあり入選を知った時には、ほっと一安心、肩の荷がおりました。

カレンダーの写真のエピソード



6年前に広告カメラマンから転職、岡山県済生会に事務員として入職しました。前職からのプレッシャーもあり入選を知った時には、ほっと一安心、肩の荷がおりました。

カレンダーの写真を撮影した。自宅の前で娘と一緒に撮影しました。変顔が得意な4歳の娘が大人しくする訳もなく撮影はかなり苦戦しました……。

当院にもナデシコカレンダーが貼ってあり、毎日ナデシコの花と娘の写真が迎えてくれます。襟を正されると同時にとても和やかな気持ちにさせてくれます。

同じようにこの写真を見た方が和やかな気持ちになっただけだったらうれしいです。

済生会はソーシャルインクルージョン推進計画を策定しました。
無料低額診療もなでしこプランも、この中に含まれます。
だれも排除されないまちづくりを目指し、
全支部・施設が1641事業を展開します。

新潟県フードバンク連絡協議会へ 廃棄予定の備蓄米を提供

〔新潟〕三条病院

三条病院は、非常用保存食として備蓄しているアルファ米1800食分を12月3日、新潟県フードバンク連絡協議会に提供しました。寄付したお米は、保存期限が近づき廃棄される予定で、有効活用する方策を検討。その中で、社会的・経済的に孤立しやすいひとり親家庭に食料品などを届け、支援する活動「子どもの未来応援プロジェクト」を知り、早速協力を申し出。そこから同



連絡協議会につながりました。



県内の5000を超える世帯が利用するこの取り組みは、新型コロナ緊急対策として、2020年5月から始まりました。需要は右肩上がりとのことで「まとまった数の寄付は大変ありがたい」と言っていたいただきました。特にお米は、利用者さんに喜ばれるのとこと。今後もこのような活動を続け、医療以外にも地域に貢献していきます。

（済生記者 治田貴大）

〔福岡〕飯塚嘉穂病院 社会復帰・自立を目指す少年に 無料インフルエンザ予防接種

少年専用の更生保護施設・田川ふれ愛義塾を12月4日に訪問し、今回で6回目となる無料インフルエンザ予防接種を行いました。

コロナ禍で実施は危ぶまれましたが、施設からアルバイトに通いながら社会に出て行く準備を行なう彼らのために、病気の予防で支援する重要性に鑑み、実施に踏み切りました。



当院の医師・看護師、薬剤師が1人ずつ、MSW2人の5人のチームで訪問。「痛そう」「インフルエンザの注射ははじめてだよ」と言う入所者15人に接種を行いました。彼らの未来が少しでも明るく、健全になることを強く望みます。

（地域医療連携室長 濱崎妃沙子）

フードバンク飯塚とコラボ イオンで医療費支援制度など案内

〔福岡〕飯塚嘉穂病院

イオン穂波ショッピングセンターで11月13日に行なわれた「フードドライブ」に、当院のMSW2人が参加しました。飯塚婦人会が立ち上げたNPO法人フードバンク飯塚が主催したイベントです。

フードドライブとは、家庭であまった食糧（米やレトルト食品など）を希望する福祉施設・団体などに無



料提供する取り組み。今回は、その食品提供を呼びかけました。併せて、当院が行なう無料低額診療事業と、コロナの影響で困窮状態に陥った人に対する医療費支援制度（通称「なでしこエイド」）のチラシも配布。MSWが出向いたのは、その場で



申請相談に対応するためです。たくさんの方に立ち寄っていただき、フードバンク飯塚とのコラボは大成。申請相談の利用はありましたが「困ったときの医療費支援制度が地域にある」と知っていただくよい機会となりました。

（地域医療連携室長 濱崎妃沙子）

全国済生会刑余者等支援推進協議会

罪は消せずとも未来は変えられる 第1回職親プロジェクト関西

全国済生会刑余者等支援推進協議会会長の筆者は、11月7日に大阪で開かれた「第1回職親プロジェクト関西」シンポジウムに参加しました。職親プロジェクトは、刑務所出所者などを積極的に採用し、社会復帰を後押しする活動です。



高知東生氏

第1部は、俳優・高知東生さんの特別記念講演。任侠の愛人の子として育ち、人気女優との結婚・離婚、薬物所持・使用で逮捕されるなど波乱の人生を送る高知さん。いまは、薬物依存症の家族支援や啓発講演をしていることを語ってくれました。続く第2部と第3部では、職親協力企業で頑張る刑余者から、生々しい経験談などを聞きました。

の過去は消せないが未来は変えられるということ。済生会として、ソーシャルインクルージョンの実現に向け、居場所の提供や健康支援など刑余者支援に取り組む重要性を、再認識する貴重な機会でした。済生会の各施設には、当協議会への協力をよろしくお願いします。

（全国済生会刑余者等支援推進協議会会長 奈良病院副院長 兼事務部長 森川 篤）

子育てや夫婦関係の悩みで39人 女性のための出張相談会

栃木県警察学校で性暴力被害者支援を講義

〈栃木〉宇都宮病院・宇都宮乳児院・高齢者ケアセンター



宇都宮市つながりサポート女性支援事業の一環で11月19日、特養とちの木荘の地域交流室で、女性のための出張相談会を開催しました。当院のMSWのほか、宇都宮乳児院と高齢者ケアセンターの相談員が協働して対応。社会福祉法人大門福祉会が運営する近隣の富屋・篠井地域包括支援セン

ターの職員などもボランティアで来てくれ、地域連携の重要性を実感しました。今回は39人の相談者が来場。「コロナ禍で、子育てや夫婦関係などいろいろな考えてしまう」という悩みに応じたほか、「相談できる場所が分からない」「ワンストップの相談窓口がある」と「よい」などの意見も聞きました。相談者には無料で生理用品を配布。「仕事が減りナプキンを買う余裕がなく、自作の布ナプキンを使っている。とても助かる」と感謝の言葉もいただきました。

コロナの影響は、元々生活が厳しかった女性や若年層で、非正規雇用・社会的支援が少ない人・脆弱な立場にいる人に、より大きなダメージが見られます。栃木県済生会では関係各所と連携し、必要な支援を引き続き届けていきます。

(宇都宮病院 地域連携課 秋山綾香)

〈栃木〉宇都宮病院



当院の大塚美幸MSWと「とちエール(とちぎ性暴力被害者サポートセンター)」専任の高木茜相談員は10月29日、栃木県警察学校で警察署勤務の警察官20人に講義しました。栃木県警は性犯罪事件の捜査能力向上に向け、必要な知識・技能を習得する「性犯罪捜査専科」の教養講座を実施。今回はその一環として県警本部の依頼

で講師を務め、とちエールの事業紹介や性暴力被害者支援の実際、警察との連携など事例を通して説明しました。受講した警察官は「被害者に寄り添った捜査が行なえるよう今後も学んでいきたい」と述べました。とちエールは性暴力被害者のワンストップ支援センターとして警察とも協力しますが、被害者は警察に臆する傾向があります。栃木県警もこうした意識を踏まえ、被害者側に寄り添いながら捜査能力を向上させることを目指しています。とちエールはすべての関係機関との連携をさらに強め、総合的な支援をコーディネートしていきます。

(地域連携課 秋山綾香)

〈栃木〉宇都宮病院・宇都宮乳児院



相談員

「コロナで失職し1日1食……」 食品・生理用品の配布と相談会

宇都宮病院・宇都宮乳児院は、NPO法人フードバンクうつのみや等との共催で12月4日、食品配布会・相談会を宇都宮市内の5カ所で開催しました。この活動は5回目。各会場には両院のMSWのほか、栃木県保健福祉部職員、報徳会宇都宮病院MSWなども参加し、重層的な相談支援を実施しました。

配布する食品は職員に募り、米・カップ麺・保存食など120セットを用意し、つながりサポート支援事業で81人に生理用品も無料提供。事前にNHKで開催告知し、シングルマザーや両親の介護で疲弊している人などが多数来場しました。

「コロナで職を失い1日1食。年を越せないと思っていた」という人、「生理用品を買ってほしいと言にくい。学校のトイレにも置いてほしい」という祖母と二人暮らしの中学生も。「『生理の貧困』の切実な声を聞き、行政への働きかけなどソーシャルアクションの必要性も感じました。引き続き支援していきたい」と、稲見一美地域連携課長代理(MSW)は語ります。この活動は今後も継続していきます。

(地域連携課 秋山綾香)

大分県地域生活定着支援センター

地域共生を考える

「権利擁護・地域生活定着支援セミナー」を11月27日、会場・オンライン参加のハイブリッド形式で行ない、一般市民・福祉・司法関係者など100人が聴講しました。

くことができよかった「今後の支援に生かしたい」などのうれしい反響をいただきました。(相談員 比良千奈美)

講師は、大分大学大学院福祉健康科学部・相澤仁教授。矯正施設を「海水域」、地域生活を「淡水域」と例え、その間にある「汽水域」でのサポートの重要性や、小さな目標を一つひとつ達成していくことの大切さが強調されました。

続いてシンポジウムを実施。特定非営利法人おおいの子ども支援ネットワーク専務理事・事務局長の矢野茂生さん、企業、当事者から、実践状況や支援に対する思いが語られました。終了後のアンケートでは、「当事者の話を聞



滋賀県病院

「おせっかいの精神」が重要
職員向け児童虐待対応研修会

当院の子ども虐待対応院内組織（CPT）と臨床研修管理委員会が、医療機関向けの虐待対応啓発プログラム「BEAMS（ビームス）」の研修会ステージ1を10月に開催しました。11月の児童虐待防止推進月間に先駆けたイベントで、当院の42人（医師18人・看護師13人・助産師4人・救急救命士2人・事務5人）が参加しました。



CPT責任者の伊藤部長（右）と、オレンジリボン制作者の社会福祉事業課主任主事山本育代MSW

BEAMSは日本子ども虐待医学会が主催する研修会で、3ステージで構成。ステージ1はすべての医療関係者が対象で、虐待の基礎的知識、早期発見の



ポイントを学び、専門機関への通告につなげることが目的です。終了後アンケートでは「症例写真や実際の例など含めた話が新鮮だった」「今まで不明瞭だった虐待の可能性のある症例への対応に関して理解が深まった」などの感想が寄せられました。

研修会では、当院職員作のオレンジリボンバッジを配布、早速名札に付ける人もいました。

〈栃木〉宇都宮病院

高校生・大学生と考える
「生理の貧困」の裏側

当院CPT責任者の小児科部長・伊藤英介医師は「講師の『子どもを守るために、おせっかいの精神が重要』のコメントが印象的でした」と振り返りました。
（社会福祉士 西澤真由美）



YMCA高校生ボランティアグループ

「生理の貧困」をテーマに社会問題を考えるワークショップを、

11月に2回開催しました。

9日は、YMCA高校生ボラ



済生会本部

ウィズコロナ時代における
ソーシャルインクルージョンの役割

炭谷茂理事長が代表理事を務める「人権文化を育てる会」が12月10日、〈東京〉衆議院第二議員会館会議室でシンポジウムを開催、約30人が参加しました。22回目の開催となった今回のテーマは「ウィズコロナ時代における、ソーシャルインクルージョンのあり方」。ホームレス、刑務所出所者、外国人等への社会的孤立・排除が深まる中、新型コロナウイルス感染症が、この問題をより一層深刻化させていること

を議論しました。小池百合子都知事は「新型コロナウイルスは、生命・健康に限らず、人々の孤立という課題を改めて浮き彫りにした。孤立の実態や、ソーシャルインクルージョン実現に向け議論することは、非常に意義深い」とメッセージを寄せました。更生保護法人「更新会」の山田憲児・常務理事は、刑務所出所者の社会復帰が自然にできる社会環境の構築が不可欠と解説。



と題し講義。女性は新型コロナウイルスの感染拡大で打撃を受けたサービス業で働く割合が高く、非正規雇用も多いと指摘しました。講義後のディスカッションでは、「生理用品が買えず困っている人がいることを知らなかった」（高校生）、「SNSなどで知っていたが、どこか他人事だった」。講義を受けて深刻さを感じた」（大学生）など、さまざまな感想・意見が聞けました。
（地域連携課 秋山綾香）

農福連携事業に取り組む「社会福祉法人草むらの会」の遠津孝保事務局長は、主に精神障害のある方への就労や生活支援を、ビル&メリンダ・ゲイツ財団の柏倉美保子日本常駐代表は、難民支援や済生会と連携したことも食堂の活動をそれぞれ報告しました。



炭谷理事長は、「血縁・地縁・社縁が消失していく中、新型コロナウイルスで、さらなる社会的孤立・排除が深まっている。ソーシャルインクルージョンの実現が根本的な解決策。社会のつながりの再構築が必要」と訴えました。
（社会福祉・地域包括ケア課 大木宏真）

〈茨城〉常陸大宮済生会病院



がんばろう! 済生会

「必死でがんばる同じ済生会の職員を何とかして応援したい!」済生会京都府病院的職員の思いが全国に広がっています。新型コロナウイルスとの闘いはまだ続きますが、どこにいても、私たちの心はひとつ。がんばる仲間を応援しています。

KEEP DISTANCE!!





広報室に写真を「がんばろう! 済生会」はつづく
 全国済生会の皆さん、ぜひ仲間たちに写真メッセージを送ってください。

もり・いずみ 1982年東京生まれ。父方の祖母は世界的ファッションデザイナーの森英恵。5人きょうだいの3番目で長女。慶應義塾中等部卒業後米国の私立高校へ留学。19歳でモデルデビュー、パリコレに出演。21歳で「おしゃれイズム」アシスタントに抜擢されタレント活動を開始。芸能界屈指の動物好きで、2017年ジャパンペットアワードを受賞。



高齢犬たちの飼い主として もっと専門的に勉強したい！

厳格な父とアメリカ人の母を中心に5人兄妹という大家族に育った。皆やんちゃでケガが絶えず、しょっちゅう外科のお世話になっていったという。

「今は娘がまだ小さいので、病院に行く機会は多いです。アメリカに住んでいる妹の話聞く

「義務教育は日本で、高校からは自由で、海外で勉強してもよい」というのが森家の方針。泉さんはカナダに近いバーモント州の寄宿制高校で3年間を過ごした。「自分たちの学校は自分で直す。食べものは自分たちで収穫する」という、フロン

と本当に大変
そうで、日本
の医療の素晴
らしさがよく
分かります」

ティア精神にあふれた学校だったそう。

「生徒が壊れたフェンスを修繕したりベンチを塗ったりするのが当たり前でした」と当時を振り返る。DIY達人の腕前は、この経験がベースになっていたのかと納得。

森家は皆、動物好き。小さい頃から家にはいろいろな動物がいて「動物のいない暮らしが想像できない」と話す。当然、動物たちも元気な時ばかりではない。病气や介護、そして別れる時もやってくる。

「ペットが大切に供養されている様子を見ると幸せな気持ちになります。こんなに愛されてよかったね、って」

お寺のご住職であるご主人とのご縁も愛犬の葬儀がきっかけ。今後は動物の体調にいちちはやく気づけるトリマーの資格を取得したいという。

「飼い主としてもっと専門的に勉強したいと思って。私が大変な時には動物たちに支えてもらっているから、お互い様で



小さい頃からいろいろな動物と一緒に育ち「子どもなりに『動物たちが自然に近い環境で暮らせるように』と考えて、公園で葉っぱや小枝を一所懸命拾った思い出があります」という森さん。今は得意のDIYで何でも作る。快適な環境で暮らすオウムたちも幸せそう！

森泉

正真正銘のセレブモデルでありながら

自由なキャラでテレビでも大活躍。

生来の動物好きで犬、オウム、亀など

21種30匹のペットと暮らし、

現在は3歳女の子の子育て真っ最中。

そして、DIYの腕前はプロ級という。

そんな森泉さんの素顔を拝見！

Text: 栗原潤子 Photos: 広田成太

Hair & Make-up: 林カツヨシ

IZUMI MORI



Vol. 140

口福につぼん

吉井省一



済生会の[病院・施設]がある
県内の市町村

よしい・せいいち コピーライター・作詞家。老舗百貨店の食の通販誌では約30年にわたって執筆に携わり、全国各地を取材。試食した食品の数は1万点を超える。

栃 本県の宇都宮と言えは、みなさんの頭に真っ先に浮かぶのは餃子ではないでしょうか。毎年、浜松と覇を競い合っています。実は宇都宮はカクテル技能競技の全国大会で優勝者を多数輩出してきた。カクテルの街でもあるのです。パーティーの街でもあるのです。銀座をしのぐとさえ言われているほど。高校時代を宇都宮で過ごした私としてはちょっとうれしく思います。

そんな庶民の味と小粋なお酒が同居する宇都宮で見つけた、お洒落なデザート、その名も「大人のウインタージェラート」。魅力度ランキングでついに最下位から浮上した栃木県民約200万人自慢のいちごを使った、大人のためのデザートです。



イチゴ王国(栃木県は出荷量・額ともに日本一)の地の利を生かしたメニューが豊富。エレガントな姿も人気の秘密

本場イタリアは約15000もの専門店があるそうです。

そうそう、映画「ローマの休日」でオードリー・ヘップバーン演じるアン王女が、スペイン階段で美味しそうに頬張っていたのもジェラートでした。

ここ栃木県発の見た目もエレガントなジェラートを作ったのは「ジェラート マスモ」。社長の布瀬智子さんは酪農家のご両親のもと、朝は搾りたての牛乳を使ったカフェオレで始まり、牛乳豆腐、自家製ヨーグルトなどで育ったという方。高校生の時にお父様からジェラートショップの立ち上げを勧められた。

められ、丹精込めて育てた牛から搾った牛乳を多くの人たちに堪能してもらえたら、と喜んで承諾したというから驚きです。その後、イタリアへ視察研修に行ったり、益子焼で専用陶器を開発したりして、第3回ジェラートマエストロコンテストでは日本一を獲得。お店も今や知る人ぞ知る人気店になりました。本場に負けな

い、日本人ならではの繊細さを活かした



お店では多種多様なジェラートの他、カスタマイズできるクレープなども味わえる

大人のウインタージェラート

《ジェラート》
マスモ 栃木県
宇都宮市

ジェラートづくりに奮闘努力して生み出したメニューのひとつが、この「大人のウインタージェラート」なのです。

暖かいお部屋で堪能したい
冬限定のフレーバー

カクテルの街、宇都宮らしい



彩り豊かなジェラートは、お誕生会やお祝いの席でも好評

お洒落なカクテルグラス風の器に収まった3種類のジェラート。スプーンが入るのを今や遅しと待っているかのような可愛さ&美しさです。高級ホテルでも採用されているだけあって存在感があります。

ユ。上にのっているいちご&いちごソースとピスタチオの香り

性が抜群で、さらに手作りの香り高いパイスタッキーがサク

冬だけのお楽しみ、大人のウインタージェラート6個セット(3種×2)



サクッと絶妙な口当たり。下のフランボワーズとピスタチオのソルベもとろろりとした口溶けと上品な甘さが言うことなしの完成度。

次に「ダブルベリーソルベ&杏仁コーヒー」。いちごとフランボワーズの甘酸っぱい果実のジュリーシーな風味を楽しめます。この最強のダブルベリーのパートナーに、さっぱりした甘さの杏仁豆腐とコーヒーのコンビを持つてきたところが素晴らしい。本格仕立てのコーヒーソースのほろ苦さが口に残り、大人らしいいきりつとした後味もたまりません。

最後に「大人のチョココレート」。使っているチョココレートは甘さの中にもしつかりしたコクがあつて濃厚。新鮮なミルクの豊かな風味がたっぷり味わえるのは、酪農家育ちの社長のこだわり。マーブル模様のチョコプレートもキュート。シングルモルトウイスキーをきかせた洗練された優雅な味わいが後を引きます。

イタリアでは、ジェラートにホイップクリームをのせて食べると聞いたので試してみると、クリーミーさと相まって味わい

大人のウインタージェラート
[いちごとピスタチオのマリアージュ、ダブルベリーソルベ&杏仁コーヒー、大人のチョココレート 各140ml×2個 計6個]
3,240円(税込・送料別)

お取り寄せ・お問い合わせは
ジェラート マスモ
TEL: 028-689-0025 FAX: 028-689-0026
〒321-0901 栃木県宇都宮市平出町4062-4
営業時間: 9:00 ~ 16:30
ホームページ: <https://www.masumogelata.com/>
※オンラインショップはホームページ中にあります

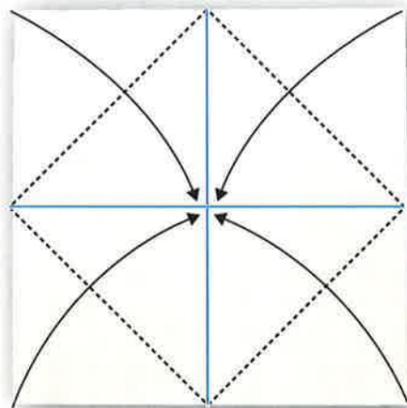


今年の開運を祈願! だるま絵馬



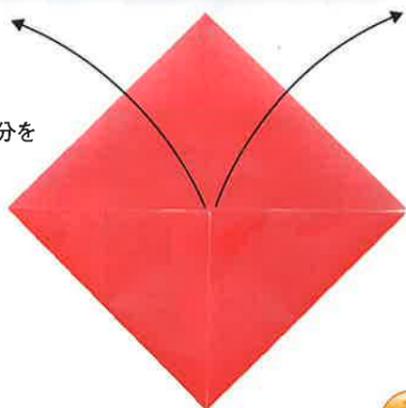
だるま(大)

1 1枚の折り紙に中心線をつけて折る



2

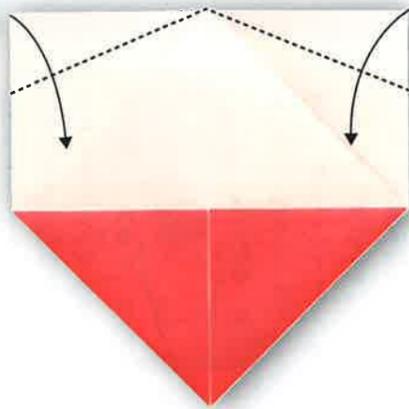
上の部分を開く



--- 山折り
- - - 谷折り
↻ 裏返す

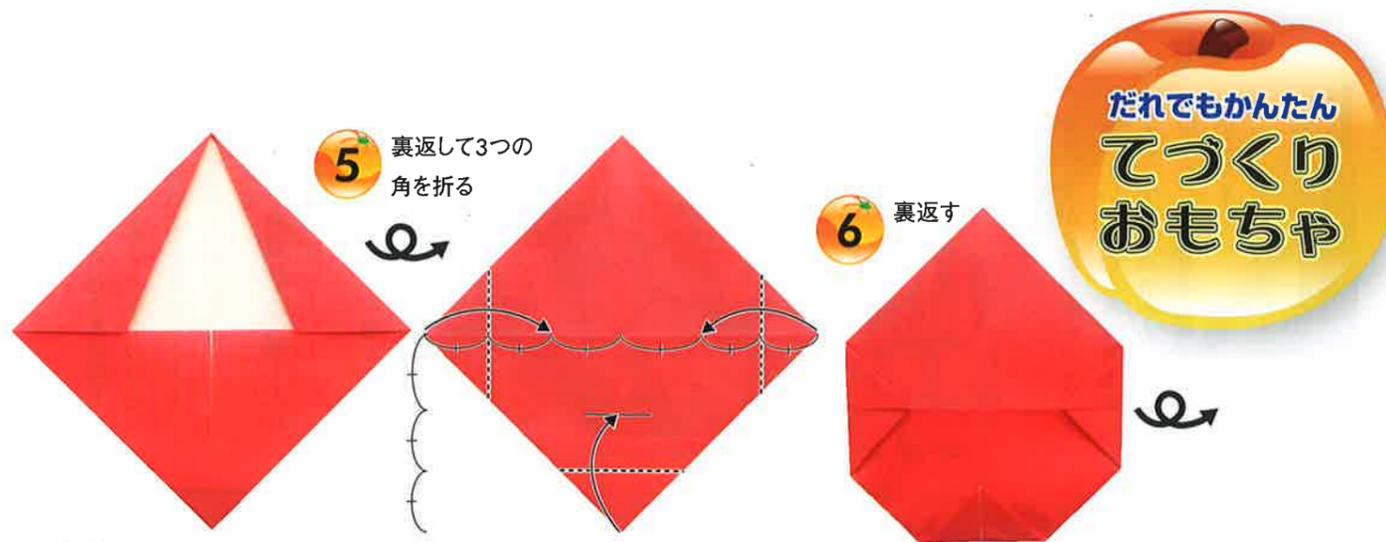
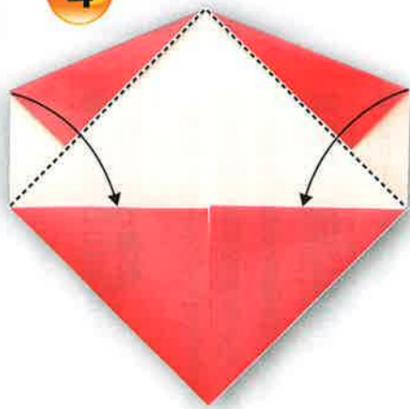
3

点線でおりすじまで折る



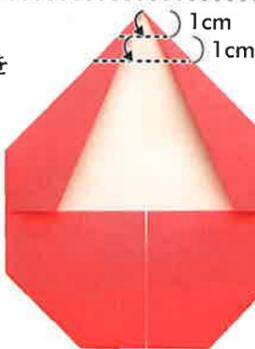
4

もう一度折る



7

上の角を2回折る



8

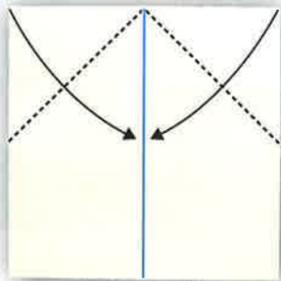
丸シールなどでまゆ毛や目、模様を描く



絵馬

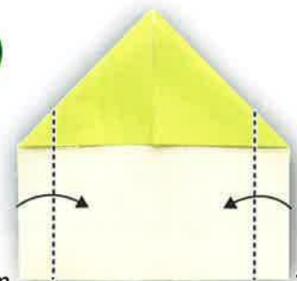
1

1枚の折り紙に中心線をつけて折る



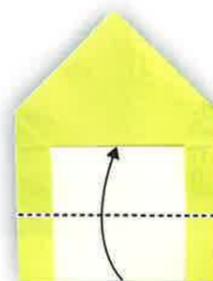
2

両端を折る



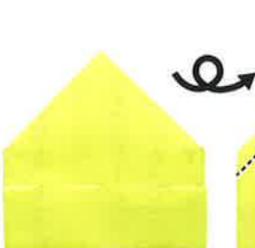
3

下の辺を折る



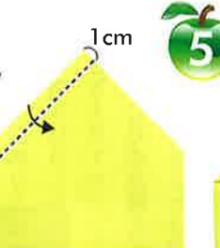
4

裏返して左上の辺を折る



5

反対側も同じように折る



完成

だるまとパンチした花やシールを貼る



動画でも折り方をチェック!

いまいみさんの折り紙動画が済生会ホームページで見られます。誰でも簡単に作れる季節感たっぷりのかわいい作品を動画で楽しくご紹介。みなさんのおりがみ作品も募集しています!

魔法の
おりがみ

<https://www.saiseikai.or.jp/feature/origami/>



1/4の折り紙でだるまをつくらとぴったりおさまるよ!



【いまいみさ】手づくりおもちゃ作家。折り紙や牛乳パックなどをリサイクルして手づくりの楽しさを伝えていきます。著書に「12か月のおりがみ壁飾り」など35冊。2011年から、小学校2年の教科書「こくご」(三省堂版)にも登場。最新刊は「季節のイベント折り紙」(日東書院)

おりがみ協力:株式会社トーヨー



〈撮影〉福井県済生会病院 済生記者 吉川千恵
福井県済生会病院が2006年に開設したSCU・脳卒中センターが昨年12月に開設15周年を迎えた

topics

SCUが15周年 脳卒中受け入れ5千人超

福井県済生会病院

SCU・脳卒中センターが、昨年12月1日に15周年を迎えました。2006年の開設で、日本海側では初めて厚労省の基準を満たしたSCU。t-PA（血栓溶解療法）の薬剤）の認可を契機に、「歩いて帰ろう脳卒中」をスローガン



に掲げ、迅速な治療とリハビリ、予防啓発に注力。急性期の脳卒中治療の充実を目指し、これまでに受け入れた患者は5千人を超えています。当日は脳神経外科・脳神経内科の医師や看護師、リハビリ専門職に管理栄養士などが集まり、脳卒中センター長の高島靖志脳神経外科部長は「病院到着から治療開始までの時間を、さらに短くできるよう努めたい。他病院や地域の開業医、救急隊員らとの連携も強めていきたい」と、決意を新たにしました。

（済生記者 吉川千恵）

★「歩いて帰ろう」というスローガン。頼もしいです！患者さんも勇気が出ると思います。

（本部広報室 河内淳史）

〈東京〉中央病院

看護助手の三井さん 勤続2年で表彰

当院で働くナーシングアシスタントの三井志保理さんが、みなと障がい者福祉事業団から勤続2年の表彰を受けました。知的障がいのある三井さんは2019年に当院へ入職し、

職場のジョブトレーナーのサポートを受けながら働いています。

現在は主に、患者さんが退院した後の病室清掃業務を担っています。

表彰を受け、病院の仕事のや



りがいについて聞いてみました。「病院の中でいろんな人とコミュニケーションを取ることにやると慣れてきたけど、まだ怖い気持ちもあります。でも、ここで仕事するのはとっても楽し

いです」と、すてきな笑顔で答えてくれました。

（広報室 佐藤弘恵）

熊本病院

Webサイトがグランプリ

公益社団法人日本アドバタイザーズ協会デジタルマーケティング研究機構が12月2日に行なった「第9回Webグランプリ」の「企業グランプリ部門」で、当院のWebサイトが「BtoCサイト賞グランプリ」を受賞しました。

参加企業64社・74サイトから選出された222人の審査委員による相互審査により選出されたもので、最高賞となるグランプリの受賞は、熊本県内の法



人・企業で初めてです。

審査員からは①ユーザー視点の直感的な導線や「病院」にとられないデザイン②豊富な医療情報の掲載③統一されたデザ



インルール」などが高く評価されました。

今後ホームページを通じて、患者さんや医療関係者のみなさんに有益な情報を届けます。

（済生記者 東 賢剛）

広島病院

献血への貢献に銀色有功章

広島病院は、令和3年度広島県献血推進功労者等表彰で、日本赤十字社から銀色有功章を受章しました。

この有功章は、献血回数70回以上、並びに15年以上活動を継続した場合に贈呈されます。当院は年2回、献血車による献血



の機会を継続して設け、多くの人の協力の下、献血活動に寄与してきました。この実績が認められ表彰されたものです。

医療を提供するうえで欠かせない血液を確保するため、当院は今後も積極的に献血運動に取り組んでいきます。

（済生記者 細川佳緒理）

特養なでしこ香川
皇后陛下からの御下賜

皇后陛下のお誕生日に際して、12月9日に御下賜品（手拭い）を賜り、浄土明大施設長から入居者さんに配られました。思いがけないいただきものに入居者さんは大変喜ばれ、皇后



陛下への感謝の言葉を繰り返していました。

入居者さん、そして職員一同、遠く香川の地から皇后陛下のお誕生日をお祝いさせていただきました。このような温かい思いを賜った私たち職員は、一致団



結して困難な現状を乗り越えていく思いを新たにしました。

（済生記者 住谷佳津）

オンラインで幹部会

（北海道）小樽病院

オンライン幹部研修会を11月27日に行ないました。和田卓郎院長をはじめ、副院長・各部署の代表者総勢39人が参加しました。

事前に、①当院の組織風土と文化のよい部分、目指すべき文化・風土、それを実現するためにしなければならぬこと②2021年度の病院行動計画



を見て強化すべき点・改善すべき点をあげる」という二つの課題を提示。それぞれをグループワークで検討し、結果を発表しました。

最後に経営企画室が「理念を実現する戦略として行動計画が必要であり、それを支える組織の文化・風土が重要だと示された。今日浮かび上がった課題を解決するために、幹部のみならずが初めの一步を踏み出してほしい」と総括しました。

（済生記者 松尾寛志）

（大阪）野江特養城東園
消防・防災訓練を実施

城東園は、消防設備管理会社・自衛消防訓練サポーターセンター職員立ち合いの下、11月18日に消防・防災訓練を実施しました。今回は、施設2階からの出火を想定して訓練開始。筆者は館内放送で火災場所等を伝達し、自衛消防本部へ状況を報告しましたが、実際に非常ベルが鳴り



響くと、緊張感で冷静な対応が難しくなると実感しました。水消火器による消火訓練も行ない、初期消火の重要性・消火

（大分）日田病院

新しい超音波診断装置

日田病院は9月27日、新しい超音波診断装置をHCU病棟に導入しました。



この装置はeFocusingという新開発の送受信技術を使用。身体内組織の深さに関係なく全領域に焦点を合わせられるため、従来機器と比べ、浅部から深部までより鮮明な画像が得られます。バッテリー内蔵型なので、医療機器の多い病室内での緊急検査もしやすくなるが期待しています。

非侵襲で患者さんの体の負担が少なく、リアルタイムに画像化できる超音波検査の特性を生かし、診断・治療・フォローアップの場面で、より充実した検査を行なっていきます。

（検査技師 西村悠希子）



松山市交流センターで11月25日に健康教室を開催し、住民な

頻尿の話に興味津々

設備の使用方法などを改めて確かめる大切な機会となりました。併せて、水害避難訓練としてDVD「気象災害と避難方法」を視聴し、施設周辺のハザードマップも確認しました。

泌尿器科健康教室

（愛媛）松山病院

ど約70人が参加しました。

当院の泌尿器科透視センター・横山雅好センター長が講演。過活動性膀胱・前立腺肥大はどんな病気か、頻尿で困ったらどうすればいいかなどについて、自分でできるトレーニングも交えて分かりやすく解説しました。普段あまり聞くことのない話に、参加者はメモを取りながら真剣に耳を傾けていました。講演に続き、当院のなでしこ一座が恒例の寸劇を披露。この日は、高血圧患者さんを題材に、1日にどれほどの塩分を摂取してもいいのか、塩を使った実演を交えて伝えました。注意して料理しているつもりでも、実際はかなり塩分過多になっていると分かったみなさんは、とても驚いていました。

（医事課 渡邊寿子）

〈山形〉 特養ながまち荘
苗から育てた焼き芋

園芸療法の一環で花壇に植えたサツマイモを10月末に収穫し、中庭で焼き芋にして食べました。以前行なった焼き芋が好評だったのを思い出し、昨春に計画。5月中旬に入居者さんと苗を植え付け、水やりを欠かさぬよう頑張つて育てました。葉が茂り、つるがどんどん伸びていく様子を談話室内から眺めるたび「楽



しみだね」「いつ掘るの?」と、収穫を待ちわびました。待ちに待った芋掘りでは、普段は膝が痛いという入居者さんも、いつの間にか膝をついて芋

看護師二人が出前授業

福岡総合病院

当院の看護師、副田剛希さんと牧野祐也さんが11月19日、福岡市立内浜中学校で「看護の出前授業」を行ないました。これは、現役
の看護職が中学校や高校へ出向
き、生徒に命の大切さや看護の役割について話し、理解を深めてもらうもの。看護職を目指す生徒を増やす機会にもなっています。
副田さんは命を守る職業の看護師として、心と体の健康を保つ大切さに言及。ポジティブ思考で前向きな言葉を口にすれば夢や目標は必ず叶うと、実体験を交えて話しました。
「みんな真剣に耳を傾けてくれ、質問や笑顔も見られてうれしかった。機会があればぜひ再訪し、命の大切さや看護師の魅力をもっと伝えたい」。出前授業の意義をこう強調しました。
(経営企画課 木下昌子)



〈新潟〉 三条病院
保育園で不審者対応訓練

三条病院の附属保育園たんぼは11月10日、不審者対応訓練



を実施しました。「不審者が正面玄関から園児たちをのぞいている」と想定。まずは複数の職員が、不審者を刺激しないよう笑顔で声かけ。その一方で、別の職員が園児たちを奥の部屋へさりげなく誘導し、病院への応援要請と警察への通報を行ないました。職員はみな、スムーズに連携できました。
警察OBの院内安全担当部長が訓練を講評。「警察の到着までに意外と時間がかかるので、病院の応援が重要となる。不審



パソコン回収でSDGs

三条病院

者に近づく際は、いざというとき盾にできそうな厚めの本などを携行するとよい」と、実践的なアドバイスがありました。保育園では今後もさまざまな想定で訓練を続けていきます。
(済生記者 治田貴大)

三条病院は11月18日、院内のパソコン約40台とハードディスク約160台を処分しました。パソコンをはじめとする電子機器類は丁寧に解体・分別すれば、部品を再利用したりレアメ

タルとして再資源化したりすることが可能です。そこでこの作業を、障がい者就労支援施設・ジョブプレイスすくらむ(新発田市)に依頼し、解体・回収してもらいました。
すくらむは、障がい者による使用済みパソコンのリサイクルで循環型社会の構築を目指す組織・日本基盤ネットワーク(新潟市)に加盟。数人が来院して行なった作業は、大量の端末を

温もり伝わるプレゼント

〈佐賀〉唐津病院

手際よく分解しデータ消去も確実で、スピーディーかつ丁寧な仕事ぶりが印象的でした。
すくらむによると、SDGsへの関心の高まりとともに、最近行政機関や病院からの回収依頼が増加中。日本基盤ネットワークは新潟県外にも加盟施設があり、無料で回収してもらるので、興味のある人はぜひ。
(済生記者 治田貴大)

ゆめさが大学唐津校から11月18日、タオル帽子30枚を寄贈いただきました。

ゆめさが大学は、シニアに学習・交流の機会を提供し、生きがいや高め社会活動を促進する狙いで、佐賀県長寿社会振興財団が運営する学びの場です。幅広い活動の中で、今回は唐津校の学生さん10人が地域貢献の一環として、がん治療や頭部外科手術をした人のためにタオル帽子を手作りしてくれました。1枚のフェイスタオルできていて、一つつくるのに30分くらいかかるそうです。
丁寧に手縫いされた帽子には



「心をこめて作りました」「少しでも寄り添えたら幸いです」など、一つひとつにメッセージが添えられ、作り手の温かい気持ち伝わってきます。
早速、外来化学療法室に置いて、希望する患者さんに渡しています。「作ってくれた人の気持ちがとてもうれしい」と大変喜ばれています。
(済生記者 相島蘭香)

topics



を体感し、フラダンスでは優しい気持ちに。秋晴れの下、模擬店でのお買い物も楽しめました。例年より小規模で開催し、地域のみなさんに開放できませんでしたが、これからも利用者さんの楽しみを増やす活動を工夫

そのみなさんには、直前2週間の健康チェック、当日の問診などをお願いしたのですが、快くお引き受けいただきました。施設内で過ごすことが多かった利用者さんは、力強い和太鼓



中央検査科のISO取得はチーム力の勝利

岡山済生会総合病院

当院の中央検査科は10月22日、臨床検査室の国際規格ISO15189の認定を取得しました。これは中央検査科の品質・能力が、国際基準に合致しているという認証です。中央検査科では、品質マニュアルをはじめ、検査ごとのSOP（標準作業手順書）、機器ごとの機材手順書など、本認証取得に向けた膨大な規定や文書の作成に2年余りを費やしました。総勢40人のメンバーで挑

んだ大プロジェクトは、中央検査科の強いチーム力で目標を見事達成しました。「ISO取得は一つの通過点にすぎない。さらに高品質の臨床検査サービスの提供を目指し、よりよい中央検査科にしていけるための、次のスタートラインにやっとなつてきた」と、さらなる高みを見据えるスタッフ。早くも次の目標に歩み始めています。

（済生記者 高畑貴子）

岡山済生会総合病院 坪井さんが審査員特別賞 手軽で健康なキーマカレー

中四国エリアで限定開催された「栄養補助食品アイソカル100を使用した病院食・行事食のレシピコンテスト」で、当院の坪井里美管理栄養士が、審査員特別賞を受賞しました。アイソカル100は、食欲がないときや、栄養状態を改善したいときに、そのままでもおいしく飲めるドリンクタイプの

栄養補助食品。坪井さんは、8種の味からカフェモカ味を選択。その甘さと香りを、コクと隠し味に生かした「カレールウで簡



単キーマカレー」を考案しました。合いびき肉・タマネギ・ニンニクに、野菜ジュースでビタミンをプラスしたのもポイント。患者さんを家族のように大切に思い、試行錯誤の末、健康と手軽さを両立させた坪井さんのキーマカレー。愛情がたっぷり詰まった逸品です！

（済生記者 高畑貴子）



静岡市校の園

太鼓やダンスで秋祭り

秋桜祭を10月24日に開催しました。コロナ禍の昨年は職員だけで催しましたが、今年は安倍口太鼓保存会やフラダンスなどのパフォーマーをお呼びしました。



していきます。

（総務管理課 原 史乃）

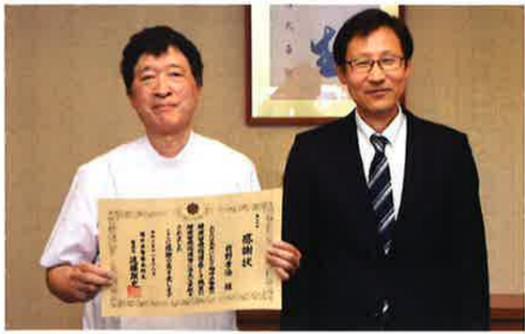
福井県済生会病院

前野内科主任部長が 福井県警察から表彰

当院内科の前野孝治主任部長が11月18日付で、福井県警察から感謝状を受けました。1993年から28年間という長期に渡り、福井県警察の医務室業務や健康管理責任者を担ってきたことが評価されました。

11月29日に、福井県警察の東藤政義厚労課長はじめ5人が来院。前野主任部長は、少し緊張しながら感謝状を收受。

「長年、福井県警の皆さんの健康管理をさせていただき、それが福井県民の安心・安全にもつながっていると思うと大変うれし。今後も気を引き締めて努



めたい」と誇らしげにあいさつしました。

（済生記者 吉川千恵）

（大分）日田病院

一次救命処置訓練

新入職員対象の一次救命処置（BLS）研修を12月2日に実施し、6人が参加しました。毎年恒例の研修ですが、昨年度はコロナ禍のため中止。感染者数



の減少を踏まえ、広い場所で開催人数を制限した分散開催にするなど細心の感染対策を講じました。研修では、救命処置は1人で対応せず、いち早く助けを呼んで処置する重要性を学習。シミュレーターやAEDを使用し、実技研修を行いました。受講者は、初めは慣れない処置に戸惑いも見られましたが、インストラクターの指導で、BLS技術を習得しました。研修で学んだことを、一次救命処置が必要な場面で適切に発揮していきます。

（済生記者 久保田倫有）

福島総合病院

東日本女子駅伝で救護班

福島総合病院の医師1人・看護師2人・運転手1人のチームが11月14日、福島市で開かれた第36回東日本女子駅伝大会の救護班を務めました。
中学生から社会人の女性ランナーでチームを組み、9区間で競う同大会に、今年は18都道府県が参加。レースは群馬県が優勝し、2位に長野県、3位が千葉県で、われら福島県も5位入賞を果たしました。

この大会は例年11月に福島市で開催されるため、当院は毎大



会で救護班を務めています。新型コロナウイルスの影響で2年ぶりの開催でしたが、選手たちに大きなけがもなく無事に終えることができました。この日走ったランナーのように、私たちも日々の業務で最後までたすきをつなげていけるよう、チームの連携を密にして地域社会に貢献していきます。

(総務課 野田尚幸)

〈愛媛〉松山病院

やっと再開、家族介護教室

松山市・同地域包括支援センター・松山病院が連携し、地域の交流を深める目的で実施。地域包括支援センターのスタッフが、坊っちゃんとマドンナに扮して司会進行します。



松山市・同地域包括支援センター・松山病院が連携し、地域の交流を深める目的で実施。地域包括支援センターのスタッフが、坊っちゃんとマドンナに扮して司会進行します。
まず当院の宮岡弘明院長が、趣味のダム巡りのスライドを交え、糖尿病と新型コロナウイルスの予防について解説。次に、当院リハビリスタッフの、その場で行なえるロコモ度テストを紹介。片足立ちできた参加者は「自分はまだまだ大丈夫！」と自信満々の笑顔になりました。
コロナ禍で2021年の家族介護教室は延期が続いていましたが、ようやく再開できました。これからも地域を健康にする活動を続けます。

(地域連携室 井上由香)

〈埼玉〉川口総合病院

警察官に学ぶ病院の守り方

川口警察署警備課から警察官3人を招いて11月17日、不審物・不審者対応訓練を実施し、警備担当を中心に職員約20人が参加しました。
警察官は「まず不審物を置か

れないこと、置かれても気づきやすくするため整理整頓が重要。不審物を発見したら、近づいたり触ったりせず110番通報してほしい」と、基本的な対応に言及。職員があいさつすることも、抑制効果で大事と聞きました。

続いて、さすまたの使い方を実地訓練。不慣れな私たちが使う際は、「不審者を押さえる」のではなく「警察官が到着するまでその場にとどめておく」目的で使用するとよいと学びました。訓練を通じて得た、不審者対応の心構えを職員全員で意識していくことが、病院を守ることにつながると思われました。

(済生記者 内藤友美子)



CBRRNE災害への対応は、まず訓練から

熊本病院

救急総合診療センターで11月25日に、CBRRNE災害対応訓練を行いました。

CBRRNEとは「Chemical」「生物 Biological」「放射性物質 Radiological」「核 Nuclear」「爆発物 Explosive」の頭文字です。

今回の訓練では、これらにより発生した災害で身近に起こり得る症例として「農薬中毒の患者の受け入れ」を想定。医師・看護師・薬剤師・救急救命士・事務員などが参加し、受け入れ手順などを確認しました。



催しました。

松山市・同地域包括支援センター・松山病院が連携し、地域の交流を深める目的で実施。地域包括支援センターのスタッフが、坊っちゃんとマドンナに扮して司会進行します。

まず当院の宮岡弘明院長が、趣味のダム巡りのスライドを交え、糖尿病と新型コロナウイルスの予防について解説。次に、当院リハビリスタッフの、その場で行なえるロコモ度テストを紹介。片足立ちできた参加者は「自分はまだまだ大丈夫！」と自信満々の笑顔になりました。
コロナ禍で2021年の家族介護教室は延期が続いていましたが、ようやく再開できました。これからも地域を健康にする活動を続けます。

(地域連携室 井上由香)

〈埼玉〉川口総合病院

警察官に学ぶ病院の守り方

川口警察署警備課から警察官3人を招いて11月17日、不審物・不審者対応訓練を実施し、警備担当を中心に職員約20人が参加しました。
警察官は「まず不審物を置か

そのほか、救急科医師による講義、感染管理認定看護師による防護服の着脱指導も実施。毒物の曝露に細心の注意を払いながら模擬患者を受け入れて処置(衣服裁断・状態の確認など)する、患者搬入訓練も行ないました。

訓練後の曝露チェックでは、対応したスタッフへの曝露(模擬薬物として用いた塗料の付着)は確認されず、一同は安堵の表情で訓練を終えました。

(済生記者 東 賢剛)



愛知県三河 青い鳥医療療育センター ビシエド選手が来た!

プロ野球・中日ドラゴンズの主砲ダヤン・ビシエド選手が11月7日、当センターに来てくれました。新型コロナウイルスの感染が落ち着いたため実現できました。
ビシエド選手は、入所児童とキャッチボールをしたり、質問にも気軽に答えてくれたりしました。幼児がボールを持って突然近づくとハプニングにも、すて

きな笑顔で優しく対応してくれ、地元球団のスター選手との交流にみんな大興奮! 療養介護の利用者さんは代表者のおみの参加でしたが、こちらも笑顔いっぱい交流できました。

コロナ禍で2年近く途絶えていた外部との交流が、ようやく再開できました。入所児童・利用者さんの活力につながるのを目の当たりにし、早く日常が戻ってほしいと思われました。

(療育支援課 三浦宏太)

〔静岡〕川奈臨海学園
そわそわわくわく水族館



静岡県賀茂地区里親会のふれあい交流事業に、幼稚園児から中学生までの8人が招待され、11月28日に下田海中水族館へ行ってきました。
昨年はコロナ禍で中止となりましたが、毎年の恒例事業です。これまではそば打ちやピザ作り

などを体験してきました。

久しぶりの外出に、みんな前日からそわそわ。「明日は5時に起こして!」と、職員にお願いする子もいました。

水族館では、魚の餌やり体験やイルカショーの海上観覧など、その場で「これやりたい!」というリクエストをすべてかなえてもらい、子どもたちは大満足。里親会のみなさんと、楽しいひと時を過ごせました。

(里親支援専門相談員

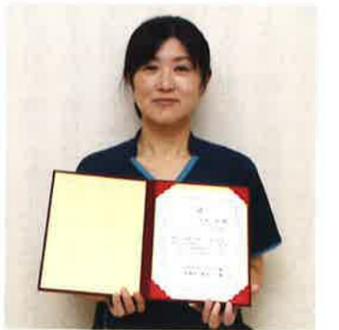
鈴木志穂)

寸田看護師が
がん看護研究助成を受賞

滋賀県病院

外来化学療法センターの寸田佳が化学療法認定看護師が11月27日、「第3回SGHがん看護研究助成」を受賞しました。

寸田さんが研究したテーマは「Nab Paclitaxel」に起因する末梢神経障害に対するフロズングローブ使用による予防効果の研究。乳がん治療などに用いられる



抗がん剤のNab Paclitaxelは、手足のしびれなどの末梢神経障害を高頻度で発症することが知られています。本研究では、フロズングローブという道具で手足を冷やし、部分的に血流量を減らすことで、末梢神経障害を予防する効果があるかどうかを明らかにします。

受賞式を終えた寸田さんは、「末梢神経障害は、出現すると日常生活に影響を及ぼします。少しでも効果のある看護を提供し、治療を頑張っている患者さんのQOLを維持・向上できる結果となるよう研究を進めた」とコメントしました。

(済生記者 西澤真由美)

〔山形〕特養やまのへ荘
映像で昭和の暮らしを懐古

記録映画「昭和のやまがた」

ます。

中山正一郎院長は、すてきなプレゼントを届けてくれた保育所職員に「いつも本当にありがとうございます。園児のみなさんも、体調に気を付けて心豊かに過ごせますように」と、お礼の言葉を伝えました。

今年こそコロナが落ち着いて子どもたちに会えますように。
(医事課長 北村浩己)

奈良病院

看護部ホームページを一新

奈良病院では昨年末、看護部のホームページをリニューアルしました。

リニューアルに向けたプロジェクトチームを2021年9月に始動。立候補した入職2年目の寺田知奈津・太田菜美の両看護師のフレッシュな意見を取り入れながら、レイアウトやメッセージなどを決めていきました。

11月24日には院内各部署の様子や看護の現場を撮影。さすがはプロのカメラマン、私たちの緊張をほぐす楽しい声かけで場が和み、すてきな笑顔の写真がたくさん撮れました。



新しいホームページには、従前からあった先輩からのメッセージに加え、「再就職者の方へ」「看護助手のやりがい」「座談会」などの新企画も用意。「奈良病院の看護部をより多くの人に知ってもらいたい」という思いを込めました。みなさん、ぜひ見てください!

(副看護部長 小田和加)

の上映会を、11月22日に会議室で催しました。
昭和30年代後半〜40年代前半にかけて、明日への希望を持ちながら、たくましく生きる山形県民の姿を山形放送が撮影した映像です。



入居者さんは「この当時は30歳くらいだったな」「集団就職列車を見送りに行ったっけな」と懐かしみ、1時間ほどの上映中、じっとスクリーンを見つめていました。
「懐かしくて涙が出た」「もう1回、開催してください」と、大好評でした。
(済生記者 大滝美結)

「RI検査で使用している検査薬の更や外注に変更」▽放射線課「R1検査で使用している検査薬の更や外注に変更」▽検査課「試薬の変更や外注に変更」▽放射線課「R1検査で使用している検査薬の更や外注に変更」



支出削減で8部署を表彰
当院は例年、部署ごとに業務改善に取り組む「支出削減プロジェクト」を実施しています。2020年度分は10月20日に、全25部署の中から次の8部署を選んで表彰しました。

〔三重〕松阪総合病院

と数人の子が「お外に逃げるの？」と職員に聞いてきて、避難訓練の成果を感じました。
(済生記者 新井保久)

宮城県済生会は、宮城県母子福祉連合会との共催で10月17日、来春の小学校入学を控えた子どもがいるひとり親家庭30組に、ランドセルをプレゼントしました。同連合会が東日本大震災後の2013年、ひとり親家庭を支援する「ふれあいきず

宮城県済生会
ひとり親家庭にプレゼント

宮城県済生会は、宮城県母子福祉連合会との共催で10月17日、来春の小学校入学を控えた子どもがいるひとり親家庭30組に、ランドセルをプレゼントしました。同連合会が東日本大震災後の2013年、ひとり親家庭を支援する「ふれあいきず

部署単位の取り組みなので、一つひとつは小さなものです。それでも「塵も積もれば山となる」。職員一人ひとりができることを見つけて協力し合い、松阪総合病院の発展の一助となるよう、これからも頑張っていきたいと思います。
(医療技術部放射線課 鈴木 廷)

適正管理・使用」▽リハビリ課「ペーパータオル使用方法の変更」▽臨床工学課「透析装置の自動化を実現し生食分割減」▽デンタル課「生食とプリビシの見直し」▽事務部PET健診センター「消耗品の見直し」▽施設課「蛍光灯をLEDに変更」。



な事業」の一環ではじめた活動で、宮城県済生会は19年度から参加しています。同日の贈呈式には、宮城県済生会の遠藤清之常務理事が出席。「安心して入学を迎え、明るく楽しい小学校生活を送れるように」との願いを込めて、ネイビ

宮城県済生会 早坂恭一

高月齢のしっかり歩ける子は、職員と手をつないで非常階段を下り、新生児・乳児は人形などで代用して、職員が抱きかかえたりベビーカーを使ったりして避難。初体験の訓練を怖がる子どもも楽しむ子もいて、反応はさまざまでした。



中村慶春院長が、済生会本部の指導で受講したコンプライアンス研修の内容をもとに、資料を作成し職員に配布。そのうえで済生会の炭谷茂理事長が、9月7日のコンプライアンス研修で行なった基調説明「済生会におけるコンプライアンスと人権問題を中心に」の動画を視聴しました。

乳児院では2020年9月の新棟移転後、防災訓練を毎月行なっています。その中で9月28日に初めて非常階段を使った屋外避難訓練を実施しました。

ドクターカー
ドッキングポイント

この場所が命を繋ぎます



この地点では、医師・看護師を乗せ患者さんの元へ出勤するドクターカーと、患者さんを搬送する救急車が合流します。合流する場所のことをドッキングポイントといいます。

宇都宮市消防局 宇都宮市消防本部
済生会宇都宮病院 塩谷広域行政組合消防本部

ドクターカーと救急車を緊急的に停車させていただくことがあります。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

ご存じですか？ ドッキングポイント！

宇都宮病院でドクターカーを運用開始して、1年。当院ではこのたび、ドッキングポイントとして協力いただいている各施設

病院到着までの間にいち早く治療・処置を開始します。

ドッキングポイントは現在、市民センター・商業施設・コンビニなど約150カ所。ここにボスターとステッカーを郵送し、掲示していただく予定です。地域のみなさんご理解とご協力のおかげで、ドクターカーを運用できています。今後も、地域の皆さんの命を守るための活動を続けます。

(済生記者 川原彩花)

茨城 神栖済生会病院
委託業者含む全職員に
コンプライアンス研修

院内業務の委託業者を含む全職員を対象に、11月15～19日の期間でコンプライアンス研修を実施しました。個人情報取り扱いや、密室となりやすい環境での医療行為など、医療業界では特に高いコンプライアンス（法令順守）意識が求められるため実施しました。

〔東京〕中央病院附属乳児院
はじめての屋外避難訓練

乳児院では2020年9月の新棟移転後、防災訓練を毎月行なっています。その中で9月28日に初めて非常階段を使った屋外避難訓練を実施しました。



高月齢のしっかり歩ける子は、職員と手をつないで非常階段を下り、新生児・乳児は人形などで代用して、職員が抱きかかえたりベビーカーを使ったりして避難。初体験の訓練を怖がる子どもも楽しむ子もいて、反応はさまざまでした。



宮城県済生会

警察官に不審者対応学ぶ

仙台市東警察署による防犯講習会を12月1日に開催し、職員21人が参加しました。11月に、刃物を持った不審者が県内の認定こども園に侵入する事件があり、その対策で実施しました。はじめに、院内に不法侵入した不審者への対応と110番通報訓練を実施。警察官が扮した不審者と対峙する訓練では、本物さながらの迫力に圧倒されながらも、職員が協力して冷静に対処。台車でバリケードを築いて侵入を阻止しつつ、警察へ通報しました。

次は、さすまたの訓練。「複

サツマイモ探して新発見

〈栃木〉宇都宮乳児院

恒例のサツマイモの収穫を11月11日に行ない、2歳児9人、1歳児13人、0歳児8人が参加しました。例年は、入所児童と職員が一緒につるを引っ張って掘り起こしますが、今年は児童が自分の力で採れるように、あらかじめ収穫したものを埋め戻し、宝探しならぬ「サツマイモ探し」を試みました。



数人で「先端を縦にして、威嚇しながら」「押さえる時は部位を分担」「警察の到着まで時間を稼ぐ」などの指導を受けました。子どもたちの安全と護身について改めて考えさせられ、防犯意識を高めました。(宮城県済生会 早坂恭一)

すると、土に触ることができない子や、一人で何本も採る子、なぜか埋めてないはずの場所から採る子など、見たことのない児童の姿を発見できました。収穫したサツマイモは職員OBが焼き芋にして、みんなでおいしくいただきました。(済生記者 小針達哉)

待ってたよ、つぼみ座さん

宇都宮乳児院

市民ボランティアが施設に出かけ、読み聞かせや人形劇を行なう「夢のキラパン」が、11月11日にやってきました。昨年度はコロナ禍で中止となり、今年も6月と9月の二度の延期を経て、待ちに待った開催です。この日来たのは、つぼみ座のみなさん。フェイスガードを装着し、子どもたちが座るマットと舞台は1メートル以上の距離を保つなど、感染症対策を講じ、2歳児13人と1歳児9人が参加しました。子どもたちを飽きさせない選曲に乗せた出し物で、まだ言葉を理解できない1歳児も体をゆらしたり手をたたいたりして、楽しく過ごしました。

施設内で日本一周!

〈埼玉〉ケアハウス彩光苑

彩光苑では1年前から、施設内の廊下をウォーキングコースに見立て、「徒歩による日本一周旅行」を実施しています。屋内で楽しく運動して健康を維持できるようにと、職員が試行錯誤した企画です。すぐろく形式で記録用紙を用



閉会にあたり、佐藤幸子保育課長が感謝の言葉を伝えるなか、子どもが駆け寄り寄るハプニングもあり、最後まで笑顔あふれる時間になりました。(済生記者 小針達哉)



意。廊下1周で1マス塗り進めていきます。施設内には「日本一周ウォーキングマップ」を掲示。歩いた距離を目で見て実感し、達成感を味わっていたため、彩光苑からの距離を記し、入居者さんがいまだこまで歩いたか、顔写真で紹介しています。



当初11人の入居者さんで始めた企画は、途中で6人が加わり、現在は17人の入居者さんがそれぞれのペースで元気に楽しく全国を徒歩旅行中です。彩光苑を出発後、鎌倉→富士山→大阪→神戸→岡山→しまなみ海道と歩き、総距離1000キロメートル超えて四国を旅行中の入居者さんもいます。目指せ、日本一周!

(介護福祉士 吉井幸子)

〈三重〉介護老人福祉施設 明和苑 オンライン面会

明和苑では、遠方のご家族と入居者さんをつなぐオンライン面会を11月1日から随時開催しています。

同17日には、岡山県倉敷市のご家族と入居者さんがオンラインで面会しました。「コロナで3年近く会っていない。顔を見られて本当によかった」と、ご家族には大好評。一方、入居者さんは不慣れた画面越しのやり取りに戸惑いながら、職員の仲介でうなずく場面が少し見られただけでした。



東の間の家族だんらんを拝見すると、筆者も自然に明るい気持ちになれます。コロナ禍の面会で思いがけず、福祉施設で働く楽しさや面白みを感じました。

(事務 永富智里)

2021年度経営デザイン認証式

主催 公益財団法人日本生産性本部 経営品質協議会



今年度は、救急部が最優秀医療安全賞に選ばれました。
施設内ラウンドでは、医療安全管理委員会メンバーが「医療安全」の標を掛けて病棟を回り、安全な医療が提供できる体制強化を呼びかけました。
(医療安全理事 高橋亜紀子)

病院の「ありがたい姿」を見える化する

〈福岡〉二日市病院

12月2日に帝国ホテルで行なわれた経営デザイン認証式で、当院の壁村哲平院長(写真右)が、経営デザイン認証委員会の登谷大修委員(福井県済生会病院院長、写真左)から「スタートアップ認証」の認証状を授与していただきました。

経営デザイン認証は、日本生産性本部経営品質協議会による認証制度で、組織の「ありがたい姿」「現状」「課題」を見える化し、改善・改革につなげていく取り組みを認証・評価するもの。当院は「スタートアップ認証」を受けるため、病院が目指す「ありがたい姿」や課題について、院長・副院長・事務部長・看護部長でディスカッションを重ね、今後の方向性をまとめた「これからの経営設計図」を策定。面談審査のトップインタビューを経て、認証を受けました。

実際にその方向に歩んでいく



め、今後に生かす目的のイベントです。コロナ禍以前は、コミュニケーションゲームを行なっていました。現在は語り合いのみで実施。新人と他部署のプリセプターでグループをつくり、自己紹介に続きアイスブレイキングを行ない、その後は自由に語り合いました。
普段の研修とは異なり、笑い声もあふれる和やかムードで双方の思いを共有し、この一年を振り返るいい機会になりました。
(教育担当者副委員長 山根静香)

医療安全でイベント

下関総合病院

医療安全推進週間(11月21〜27日)に合わせて、医療安全標語や医療安全の実践のパネル展示、施設内ラウンドなどを行ないました。
医療安全標語は75件の応募から、最優秀標語賞には「危険予



知 チームでとりくみ 事故防止」を選びました。各部署に1年間掲示し、毎日唱和して医療安全意識の向上に努めます。
パネル展示では20部署の実践をロビーで紹介。患者さんやご家族にも、当院の医療安全の取り組みを見ていただきました。

ためには、病院全体で一致団結した力が必要です。各職員の理解と協力を得ながら取り組んでいきます。
(総務課 木山浩平)

〈山形〉特養愛日荘 館商組合さん、ありがとう

山形県館商生活衛生同業組合から11月18日、すしの折り詰め約60食をいただきました。

当日は、同組合の3人が来荘。入居者さん3人と阿部久施設長が代表して受け取りました。

入居者さんは「おすし屋さん、折り詰めなんて、なかなか食べることがない。こんなにありがたいことはありません」とお礼の気持ちを伝えました。
昼食の時間、ふたを開けた入居者さんは一斉に「おいしそ〜」と声をあげました。いつもより箸が進むみなさん。「おいしい



ね〜)「おかわりなの?」とにぎやかな食卓となり、あっという間に平らげました。
(消生記者 高橋 睦)

topics

滋賀県病院 初のドクターヘリ本部訓練

災害拠点病院の当院は10月23日、ドクターヘリ本部運営机上訓練を初めて開催しました。近年頻発する大規模自然災害への準備が目的で、ドクターヘリの本部訓練は全国的にも珍しい取り組みです。
滋賀県が被災地域になったと



想定。県庁の要請で、ドクターヘリ基地病院の当院が本部を設置し、ドクターヘリ搬送が必要な患者ニーズの収集・調整を行なうという流れで訓練を進行。実災害時には、運行管理室にドクターヘリ本部を置きますが、今回の訓練では会議室に同じ広さの本部を設置してシミュレーションし、必要な機材・人数がきちんと活動できるかを検証。各部門の災害時対応をまとめた事前指示書「アクションカード」の運用確認も行ないました。
救急災害業務室の今安弘樹救急救命士は「訓練を継続し、いかなる危機的状況下でも、安全でスムーズな搬送ができるドクターヘリの体制作りに尽力します」と語りました。
(消生記者 西澤真由美)

〈山口〉下関総合病院 新人と先輩が笑顔で交流

今年度2回目の「ニコちゃんカフェ」を開催し、新人31人とプリセプター(先輩看護師)14人が参加しました。
新人とプリセプターが互いに思いを語り合い、コミュニケーションを図ることで連帯感を高

topics

長崎病院 1500万円のご支援に感謝 新しい救急車に使います



長崎病院は10〜11月に、救急

車を買替えるためのクラウドファンディングに挑戦し、目標を達成しました！

現在の救急車は7年前に他病院から譲り受けたもの。合計25年間走行していて、継続運用が厳しい状況でした。そこでクラウドファンディングを企画。地元テレビ局や新聞、イベントなどで広報活動に努め、たくさんの方の応援メッセージと寄付をいただきました。11月16日に目標金額の1300万円を達成、同29日のプロジェクト終了時には1500万円を超える寄付が集まりました。

皆さまのご支援、誠にありがとうございました。そのご期待に応え、さらに地域医療に貢献できるように精進していきます。

なお、目標金額を超えたご寄付は、救急車の装備の充実、DMAT・災害対応関連の備品、救急医療に関する機材などの購入費用に活用します。

(済生記者 河野太祐)

地元テレビ局が取材 マイナンバーの健康保険証

マイナンバーカードの健康保

長崎病院



取材当日までに、マイナンバーカードを健康保険証として利用した患者さんは6人。長崎県下のマイナンバーカードの普及

取材当日までに、マイナンバーカードを健康保険証として利用した患者さんは6人。長崎県下のマイナンバーカードの普及率

率

率は38%ほど(11月現在)にとどまっています。

まずは「長崎病院で健康保険証として利用可能」と、認知度を高めていくことが大切です。このニュースで、認知度がアップしてくれればと思います。

(医事課係長 森下亜紀)

〈兵庫〉特養ふじの里 退院後の スムーズな生活支援を

特養ふじの里から12人、済生会兵庫県病院から14人が参加し



て、12月3日に医療介護連携研修会を開催しました。

この研修会は、兵庫県病院の

看護大実習生から私たちが学びました

〈奈良〉訪問看護ステーション野の花

訪問看護ステーション野の花は、奈良県内の看護大学の学生6人を2人ずつに分け、各5日間の日程で(9月13〜17日、10月4〜8日、同25〜29日)訪問看護実習を行ないました。

実習生は、「訪問看護師になるためには、病院で経験を積み看護判断能力を身につける必要があると思います」「病院とは違う看護の実際を知り、在宅療養を支える難しさを知りました」

た」など、率直な感想を聞かせてくれました。

(所長 丸山節子)

みんな一緒にやっぱいい

特養ふじの里

(済生記者 山下芳樹)

退院支援担当者に「ふじの里。なでしこ神戸の在宅サービスは何をしているか」を説明する場です。在宅部門には、デイサービスや看護小規模多機能型居宅介護など六つの事業所があり、その魅力を発信しようと熱くなり、予定時間を超過しました。

ふじの里と兵庫県病院は隣接し入居者さんの受診などで行き来はあるものの、介護施設と病院の在宅支援は、医療・介護で制度が異なり、互いに理解不足もあります。研修会を通じ、これまで以上に退院後のスムーズな生活支援で連携できると感じました。12月17日に2回目を開催します。

ふじの里は東館と西館の合同で、11月9日に2年ぶりの運動会を開催しました。

競技前の準備体操は、入居者さんと職員が元気にうめぼし体操を踊り、運動会担当職員が国歌を斉唱。緊張した歌声に笑いが起こり、つかみはOK！

玉入れは、自力で投げられる



は、入居者さんの黄色い声援に力を得て、長期戦の名勝負となりました。

やはり合同行事は盛り上がりです。一日も早く、感染症の不安なく大人数が集まることのできる日常に戻れますように。

(東館介護士 市井雄太郎)



〈大阪〉中津病院
魅力満載の新Webサイト

当院はWebサイトを12月2日にリニューアルしました。2019年にリニューアルのプロジェクトチームを発足し、脳神経外科の後藤浩之部長をリーダーに、多職種で作業を進行了。①分かりやすく見やすいこと②斬新さと機能性を兼ね備えたデザイン③病院スタッフを身近に感じられる内容——の3点の実現を目指しました。



従来のサイトは情報過多で煩雑さが目立っていたので、ターゲットごとに入り口を分けて情報を整理し、見つけやすく改めました。TOPページでは、大阪の中心地・梅田にある、当院の立地の魅力をアピール。低速度撮影のタイムラプスを使い、街並みの一日の移り変わりをコマ送りで見せていて、病院のホームページでは類を見ない工夫と自負しています。ほかにも、当院スタッフが家族や友人に自慢できるようなサ

イトを目指し、スタッフが働く様子を端々に入れるなど、書ききれないほどの見どころがあります。ぜひ一度ご覧ください。

（済生記者 久原市子）

〈神奈川〉横浜市東部病院
ぶーとん保育室が開園

横浜市東部病院は12月1日、新棟1階に病児保育室を開園し、セレモニーを行いました。保育室は「子どもたちがトントン拍子」で元気になるようにとの願いを込めて、起動を意味する英語の「boot」に、



病院名の「とうぶ」をかけて「ぶーとん保育室」と命名。園医の岩本眞理院長補佐は、「名前の由来どおり、トントン拍子に具合がよくなり」「ここに預けてよかった」と思ってもらえるようにしたい」とあいさつ。

お子さんたちが安心して笑顔で過ごせる保育室にしていきます。セレモニーでは、最後に関係者でテープカットを行ない開園を祝いました。

（済生記者 荒木愛美）

〈三重〉明和病院

職員の声が後押し
キャッシュレス決済導入

当院の売店・職員食堂は12月1日から、電子マネー・クレジットカード・QRコードなど約40種類以上のキャッシュレス決済を順次導入しています。

事前アンケートで、食堂・売店を利用する職員の約9割が「キャッシュレス決済を利用中」または「導入希望」でした。または「導入希望」でした。キャッシュレス決済の導入により、これまで職員食堂を利用する際に必要だった10食分の食券購入が不要になりました。会計時の利便性の向上のほか、金



銭受け渡し時の接触リスク軽減などにもつながるキャッシュレス決済は、コロナ禍で注目が高まった感染対策にも一役担ってくれると期待しています。

（資材整備課 山本崇人）

〈山形〉養護（盲）老人ホーム山静寿
自慢のパックンポーチ

手芸クラブの活動を12月2日、養護（盲）老人ホーム山静寿の2階食堂で行ないました。

毎週木曜日に、入居者さん2人と職員1人で活動する手芸クラブは、共通のテーマを決めて作品を作成していきます。いま取り組んでいるのはパックンポーチ。パネ口金を使用し

載々

済生会の職員が寄稿した記事が、掲載された雑誌等を紹介いたします

情報提供で統一した治療継続を

〈大阪〉吹田病院 問宮副看護部長

「看護技術」2020年12月号（メ）



たポーチのことで、口金の両端を押すと、片手で開け閉めできる使いやすさが特長です。完成したポーチはどれも力作揃い。色とりどりのおしゃれなポーチが出来上がりました。メンバーは、「手芸クラブが何よりの楽しみ」「いい気分転

換になっている」と、楽しく活動していて、ライフワークとして定着しています。

（済生記者 丹 秀樹）

機関紙誌がグリーンプリンティング（GP）環境大賞の準大賞に

済生会が2021グリーンプリンティング（GP）環境大賞の準大賞に選ばれ、11月29日にホテルニューオータニ東京で行なわれた表彰式で、渡邊世祐・済生会本部総務部次長に表彰状と記念の盾が贈られました。

この賞は、環境負荷削減を目的し、日本印刷産業連合会が定めた印刷工場と資材で生産された印刷製品であることを示す「GPマーク」を表示している企業や団体に贈られるもので、機関誌「済生」と「ニュース済生」

済生会本部

が該当します（ニュース済生 2021年9月号既報）。式には、小池百合子・東京都知事が出席、「東京都はサステナブル・リカバリー（持続可能性にも配慮した経済復興）を目指しており、GPも潮流になっている。この印刷技術を東京都、日本から世界に発信していきたいと思います」と挨拶しました。

（広報室 河内淳史）



渡邊次長（左から2人目）

2021年9月印刷の月 記念式典

一般社団法人 日本印刷産業連合会

看護技術 12月号

「連携」が支える
フットケア

多職種・地域・施設連携における役割の役割

自験験が押さえておきたい
糖尿病治療薬

り進む場合は、統一した治療が継続できるよう、地域の看護師・介護職員へ情報提供する役割も担う②病棟・外来でケアに継続性がなければ創傷治療が望めないのと同様に、在宅で治療を続ける場合も、地域医療に携わる職種同士の連携が悪化予防につながる③外来と在宅訪問で地域の医療関係者と適宜情報を交換し治療する。

そして、在宅専門の看護師への情報発信・共有が、連携強化の重要な鍵と指摘。「下肢創傷治療に関わる看護師は、傷が発生した原因を排除する方法と継続できる処置方法について、患者や家族、関係する多くの医療者とともに考えることが重要」と締めくくっている。

（済生記者 橋本 茜）

ミキサー食の課題は粥ゼリーで解決できる

「ヘルスケア・レストラン」2021年11月号（日本医療企画）に、当院の塩濱奈保子主任管理栄養士が「ミキサー食の栄養価低下を防ぐため加水ではなく粥ゼリーで物性調整に努める」を寄稿し、表紙を飾った。滑らかなミキサー食をつくらうと

して加水すると栄養価低下につながる可能性が高いため、水の代わりに粥ゼリー（酵素入りゼリー食の素）「スベラカーゼLife（フードケア）」を加える方法を提案。これで栄養価低下が防止でき、酵素の働きでたんぱく食品特有のベタつき・離水も抑えられる、安全に摂取可能な物性に調整できると説明。ミキサーで容易にまとめて作れて冷凍保存が可能ことや、家族の食事と同じメニューで作れるため介護者の手間と精神的負担が軽減できるのも利点と解説している。

「現在、嚥下調整食のお菓子を提



供する京都府宇治市のカフェのメニュー開発に協力中。こうした取り組みを広げながら、病院管理栄養士として退院患者さんの在宅療養を支える嚥下調整食の提供に努めていきたい」と締めくくっている。

（済生記者 白須優也）

大雑報

身の回りで起きた、さまざまなことを楽しく報告するコーナーです。職場の話でも、家庭の話でも、休日の話でも、ご報告ください

おいしそうでも食べられません

11月の誕生会は施設内で果物狩りを催しました。クリなどの菓子パンを果物に見立ててたくさんひもをつけるし、利用者さんに好きなものを取ってもらったのです。

会場にはお祝いのケーキもありましたが、なんか変。近づくくと、職員がつくったフェルト地のハンドクラフトでした。どう見てもおいしそうなケーキなのに……。

作者は、療養棟の介護職員・小柳洋美さん。利用者さんの喜ぶ顔見た



さで、動画を見て独学で勉強。ケーキの段の部分のリボンで隠し、ク

ルームの大きさをわざと不ぞろいにして、より本物らしく立体的に仕上げている3日もかかったそうです。

本誌「済生」の10月号と12月号で、通所リハビリ職員の手づくり作品を紹介したのに刺激されたのか、はまな荘では職員の間で作品作りが流行中。次の力作も記事にして、職員のモチベーションアップにつなげていきます。乞うご期待！

（広島・老健はまな荘 済生記者 佐藤 聡）

SDGsを身近にする冊子

飯塚嘉穂病院は、2021年4月にSDGs推進グループを立ち上げ、経営企画室に専門の事務局を設置、病院全体でSDGsに取り組んでいます。

今年度の目標は、職員への周知。SDGsをより身近に感じてもらうと、当院のこれまでの取り組みをSDGsの17の目標に分類してまとめた「SDGsアクションブック」を作成。12月、職員に配付しました。これを契機にさまざまな意見を取り入れ、社会のために役立つことを、私たち職員が地域と一緒に考えて、実現していけたらいいな。

（福岡・飯塚嘉穂病院 済生記者 松岡亜希）

★何の取り組みがSDGsにつながっているのか一目瞭然！ 私も読んでみたいですね！

（メデイカル・リーフ 平山果奈）



れ、後日、川奈臨海学園へ報告にきてくれました。「来年は絶対に優勝！」と、早くも来シーズンへの意気込みを語った小林さん。学園のみんな応援しています。頑張れ！

（静岡・川奈臨海学園 済生記者 鈴木一大）

★Webサイト「シンク！」の学園紹介にもご登場いただいた小林さん。優勝カップを同園に、ぜひ！

（大空出版 安田洋明）



小林さん快挙です！

先日、退園生の小林史紘さんから、明るいニュースが届きました。

小林さんは、富士スピードウェイのオリジナルレース「富士チャンピオンレース」ロードスターカップの1・5リッターチャレンジクラスに参加しています。そのレースの第2戦と最終戦で3位に入り、年間ポイントも3位という偉業を成し遂げたのです。

11月20日に年間表彰式が行なわ



イチゴ栽培もする事務部長？

11月19日、筆者は静岡済生会総合病院に招かれ、職員と文書管理や広報業務等の意見交換をしました。

久しぶりの対面、楽しい一日を過ごし、京都への帰路に着こうとしたとき、同院の杉原孝幸事務部長が私にイチゴの苗を見せてくれました。富士山を望む事務部長室のベランダでイチゴを栽培しているとのこと。日本中を探してもイチゴを育てる病院事務部長は杉原さんだけ！

「なぜイチゴを？」とあえて聞きま

見せてくれた杉原事務部長の笑顔は、富士山に負けない清々しさがあ



次号予告

済生 No.1112 [令和4年2月号]

済生会の不易流行論 (161) 炭谷 茂

NEWSな済生人 この人 ウォーリー木下

済生会交差点 口福にっぽん (53) 桃カステラ (長崎県長崎市)

てづくりおもちゃ いまいみさ

広告索引

アクサ生命保険(株)
富国生命保険(相)
日本生命保険(相)
第一生命保険(株)
大樹生命保険(株)
明治安田生命保険(相)
裏表紙[表紙4]

think!

sync!



知る・見つける・支える

ソーシャル インクルージョン

Social Inclusion **シンク!**

はじめまして、シンク!です。

済生会が推進するソーシャルインクルージョンを、
多くの人々に知ってもらうためのウェブメディアができました。

サイト名は「知る・見つける・支える ソーシャルインクルージョン」。
愛称の「シンク!」は、social inclusionから名付けました。
think (思いを巡らせる)、sync (共感する、シンクロする) という意味も込めています。

済生会内外のさまざまな活動の記事を通して、ソーシャルインクルージョンの
実現を目指す人々の思いを知り、共感し、そして仲間になってほしい。

それがシンク!の思いです。

知る・見つける・支える

ソーシャル インクルージョン

Social Inclusion **シンク!**

<https://www.socialinclusion.saiseikai.or.jp/>



りました。
メイドイン静岡病院の「イチゴ」
が届く日を京都府病院で待っています！
(京都府病院 企画広報室長 松岡志穂)

★収穫量53年連続日本一のイチゴ王国・栃木県として、これは負けてられませんね！ 石川さん (宇都宮病院事務部長)。
(本部広報室 河内淳史)

沖繩への派遣で学んだことを
東京・向島病院で生かす
今夏のコロナ第5波、東京では1日に6000人近い新規感染者が発表される日もありました。9月下旬以降、新規患者は激減しましたが、当院では東京都の重点医療機関として気を緩めることなく日々の診療にあたっています。
私は、10月に14日間、厚労省の要請を受け、沖縄県立北部病院に派遣されました。普段勤務する(東京)向島病院ではコロナ病棟に配属、気管挿管が必要な患者の対応を経験していたことから、逼迫した医療現場の役に立ちたい思いで派遣要請を受諾しました。
沖縄県立北部病院では、乳幼児も入院することがあり、症状を訴えない患者に対し状態を観察してい



左が針谷さん

くこの大切さをより強く実感。「逼迫している中でも全国からの派遣応援の方がいたから頑張れた」という現地スタッフの言葉が印象に残っています。
12月に入り、新しい変異ウイルスによる感染報道も耳にします。感染隔離下による安全対策や患者の経過観察など、沖縄県立北部病院スタッフとも情報交換した経験を向島病院で生かしてまいります。
(東京・向島病院 看護師 針谷瑞紀)
★東京都民の一人として、針谷さんを頼もしく、済生会職員として誇りに思います。
(本部広報室 河内淳史)



済生会

明治44年2月11日、明治天皇は、時の総理大臣桂太郎を召されて「恵まれない人々のために施療救療による済生の道を広めるように」との済生勅語に添えてお手元金150万円を下賜された。桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年5月30日財団法人済生会を創立した。
以来今日まで110年、社会経済情勢の変化に伴い、存続の窮地を乗り越えるなど幾多の変遷を経ながらも、本会は「施療救療」という創立の精神を引き継いで保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んできた。
戦後、昭和26年に公的医療機関の指定、同27年に社会福祉法人の認可を受け、現在、社会福祉法人財団法人済生会となっている。

済生

[令和4年1月号]
THE NEWSLETTER of
Social Welfare Organization
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

令和4年1月10日発行
通巻第1111号 (第98巻第1号)

編集兼 炭谷 茂
発行人
発行所 社会福祉法人財団法人済生会
〒108-0073
東京都港区三田1-4-28
三田国際ビルディング21階
TEL: 03-3454-3311 (代)
FAX: 03-3454-5576
印刷所 株式会社白橋
東京都中央区八丁堀4-4-1
©社会福祉法人財団法人済生会

総裁 秋篠宮皇嗣殿下
理事長 炭谷 茂
本部Ⅱ東京 支部Ⅱ40都道府県
診療所 81
介護医療院 18
介護老人保健施設 29
介護施設 1
児童福祉施設 25
老人福祉施設 122
障害者福祉施設 9
看護師養成施設 7
訪問看護ステーション 62
地域包括支援センター 30
地域生活定着支援センター 5
その他 9
合計 399 (数字は令和2年度)
さらに巡回診療船「済生丸」が瀬戸内海の53島の診療活動に携わっている。
職員数は全国で約6万4000人。

済生会グループ保険のご案内

スケールメリットを活かした、
個人保険に比べて
割安な保険料で
大きな死亡保障を!!

グループ保険

〔災害割増特約・こども特約・
こども災害割増特約付福祉団体定期保険〕

(本人・配偶者・こども対象)

診査がなく(告知のみ)
手続きが簡単なおうえ、
剰余金があれば
契約者配当金が戻ります。



① 終身医療保障プラン

〔手術給付特約・手術補完給付特約・
先進医療給付特約(12)・死亡保険金不担
特約(入院保障保険(終身型 09)用)付
入院保障保険(終身型 09)〈60日型〉〕

② 医療保障プラン

〔高度先進医療給付特約・特定疾患給付
特約付医療給付金付個人定期保険〕

③ 総合医療あんしんプラン

〔総合医療保険(団体型)〕

(本人・配偶者・こども対象)

3つの保険より、
選択できます。



第二の人生を
充実させるために
今からご準備を!!

ゆうゆうライフプラン

〔拠出型企業年金保険、
医療給付金付個人定期保険〕

(本人のみ対象)



令和4年度 済生会グループ保険は、
令和4年1月1日保障開始となります。

(保険料は令和3年12月の給与からの控除開始です。)



※このご案内は商品の概要を説明しています。ご契約の際には、「パンフレット」「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

〔グループ保険・ゆうゆうライフプラン引受保険会社〕

アクサ生命保険株式会社 [事務幹事会社]
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

日本生命保険相互会社 富国生命保険相互会社
第一生命保険株式会社 大樹生命保険株式会社
明治安田生命保険相互会社

〔医療保険引受保険会社〕

アクサ生命保険株式会社 (終身医療保障プラン・医療保障プラン)
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

日本生命保険相互会社 (総合医療あんしんプラン)
法人サービスセンター
電話 0120-563-925

〔受付時間 月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日・12/31～1/3はお取り扱いしていません)〕

〔グループ保険・ゆうゆうライフプラン・終身医療保障プラン・医療保障プラン取扱店〕

アクサ生命保険株式会社 制度推進部
【照会先】法人ビジネス業務部
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7450

〔総合医療あんしんプラン担当営業部〕

日本生命保険相互会社 公務第一部
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1 電話 03(5533)5086

Form No.0D2313(8.0) AXA-A1-1903-0342/9F7 2019.07.31(2020.12更新)